静岡市情報化推進実施計画

（2015-2018）

平成 28 年度フォローアップ

平成 29 年3月

静岡市総務局ICT推進課

静岡市情報化推進実施計画（2015-2018）
個別施策一覧

1　先進的な情報システムの構築

No	施策名
1	社会保障・税番号制度導入の庁内体制の整備
2	社会保障・税番号制度に対応した情報システム整備（住民情報システム）
3	社会保障・税番号制度に対応した情報システム整備（個人番号付番関連）
4	社会保障・税番号制度に対応した情報システム整備（福祉分野）
5	統合型GISの構築
6	開発登録簿等のデータ化
7	CALS／ECの推進
8	簡易水道遠隔監視システム
9	当日投票システムの導入
10	シズオカ型オープンデータシステムの推進（カタログサイトの構築）
11	情報提供の推進
12	自治体クラウド（情報システムのクラウド化の推進）
13	統合型内部情報システムの構築
14	次期人事給与システムの開発
15	住民記録システム・共通基盤システム更改事業
16	税務・国保年金システム機器更改事業
17	住民情報系ネットワークの整備
18	市税収納支援システムの更新
19	静岡市立小中学校校務用パソコン整備業務（更新）
H28新規	（新）税務・国保年金システム機器導入検討事業
20	情報システム開発マニュアル（調達編）の整備
21	ITアドバイザーの活用
22	第２期静岡市情報セキュリティ実施計画の策定・運用
23	情報セキュリティ研修の実施
24	情報セキュリティ外部監査・内部監査の実施
25	IT資産管理の構築・運用
26	ICT部門の業務継続計画のマネジメント
27	被災時用住記情報参照等システムの運用

2　快適な市民生活の実現

No	施策名
28	電話サービスのあり方の検討
29	道路管理統合GISの運用
30	静岡市自殺対策ホームページ（「しずここネット」）の運用
31	食の安心・安全情報の発信（「たべしずねっと」の運用）
32	子育て情報の発信（「ちゃむしずおか」の運営）
H27新規	駿河区情報発信サイト「スルマガ」の運用
33	電子申請システムの運用
34	申請書ダウンロードシステムの運用
35	静岡斎場火葬予約システムの更新検討
36	生涯学習施設予約システムの運用
37	スポーツ施設予約システムの運用
38	都市計画情報インターネット提供サービス
39	公園施設予約申請システムの構築
40	官民境界確定資料のデジタル化
41	静岡市道路台帳図情報インターネット提供サービス
42	番号制度の活用
43	住民票等の証明書コンビニ交付サービス事業の検討
H27新規	証明書コンビニ交付サービス事業における取得可能証明書拡大の検討
44	静岡市ホームページ利用者のアクセス機会の拡大
再掲	シズオカ型オープンデータシステムの推進（カタログサイトの構築）
45	ソーシャルメディアの活用
46	電子交流掲示板の構築
47	公衆無線LANポータルサイト「Shizupass」関係事業
48	ガバメント2.0の検討
49	シズオカ型オープンデータシステムの推進（オープンデータ活用（課題解決））
再掲	道路管理統合GISの運用
50	e-ラーニングシステムを活用した職員研修の推進
再掲	情報セキュリティ研修の実施
51	電子申請利用促進のための研修の実施
52	情報化推進員研修の実施
53	外部機関によるICT専門研修

3　ICTによる豊かな暮らしが実感できるまちづくり

No	施策名
54	静岡地域消防総合情報システムの整備・運用
55	消防活動支援情報のICT化促進
56	防災情報のICT化促進
57	防災情報メール配信システム
58	公共情報コモンズ（Ｌアラート）の活用
59	保有映像情報の有効活用
60	不審者情報等メールの配信
61	応急手当普及啓発活動の促進
62	救命環境の高度化(ICT化の整備・活用)
63	認知症しずメールの配信（認知症高齢者見守り事業）
64	ユニバーサルデザイン・バリアフリー情報の発信　（「ゆびぷら」の運用)
再掲	食の安心・安全情報の発信（「たべしずねっと」の運用）
再掲	静岡市自殺対策ホームページ（「しずここネット」）の運用
再掲	子育て情報の発信（「ちゃむしずおか」の運営）
65	大気汚染常時監視テレメータシステム
66	静岡市立小・中学校校務支援システムの構築　（※「静岡市教育クラウドの構築」から変更）
67	不燃・粗大ごみ受付業務
68	地球温暖化対策情報の発信（「つなごうしずおか」の運用）
69	自然環境情報発信事業
H27新規	静岡市MORIガールプロジェクト企画運営業務
70	上下水道局庁舎災害対策本部室映像システムの設置
71	普通教室用ICT環境の充実
72	返還免除機能が追加された奨学金システム
73	就学援助システム
再掲	道路管理統合GISの運用
再掲	静岡市立小中学校校務用パソコン整備業務（更新）
74	シズオカ型オープンデータシステムの推進（オープンデータ活用（産業・教育））
75	産学との連携
76	文化・クリエイティブ産業の振興　（※「しずおかコンテンツバレー構想の推進」から変更）
77	市産材活用プロモーション事業

No	施策名
78	企業情報・採用情報の発信（「しずまっち」の運用）
79	静岡市公衆無線LAN整備事業の推進
再掲	駿河区情報発信サイト「スルマガ」の運用
79	静岡市公衆無線LAN整備事業の推進
80	静岡市公式観光ウェブサイトの運用・更新
81	静岡市の文化財情報の発信
82	静岡市まちなか情報コミュニケーション推進事業
83	静岡市産お茶情報の発信（「お茶のまち静岡市」の運用）
84	静岡市産農産物情報の発信（「ZRATTO！しずおか」の運用）
85	清水区ＳＮＳ活用事業
再掲	公衆無線LANポータルサイト「Shizupass」関係事業
再掲	ガバメント2.0の検討
再掲	シズオカ型オープンデータシステムの推進（オープンデータ活用（課題解決））
再掲	電子交流掲示板の構築
86	シニア向けスマートフォン教室の開催
87	携帯電話不感地域の対策
88	オクシズサイトの運営
再掲	清水区ＳＮＳ活用事業
89	G空間シティ構築事業の実運用化
90	図書館電算システムの更改

スケジュール項目　凡例
△　：　調査、検討 ○　：　一部実施、推進 ◎　：　完全実施、完了 →　：　継続

1　先進的な情報システムの構築

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
1	社会保障・税番号制度導入の庁内体制の整備	社会保障・税番号制度は、社会保障分野、税分野、個人情報保護分野、情報システム分野など複数の部署が係わる制度のため、庁内体制を整備し対応します。	社会保障・税番号制度導入に向けて、庁内体制（本部、幹事会、部会）を整備し、庁内全体スケジュールの進捗管理、国や県からの情報の庁内関係部署への伝達、特定個人情報保護評価の進捗管理などを実施します。	→	→	◎		行政管理課	1-1-1 社会保障・税番号制度導入への対応	27	→	社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入に向けて、庁内体制を整備し、所管部署との意思疎通を図りながら、各種情報システムの改修や特定個人情報保護評価等の進捗管理を予定どおり実施しました。
				全庁的なスケジュールの進捗管理等	継続	制度導入完了				28	→	引き続き、社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入に向けて所管部署と連絡調整を行い、情報提供ネットワークシステムへの接続申請や総合運用テスト等の進捗管理を実施しました。
				評価指標：【平成２９年７月における制度導入完了】						29		
				―	―	制度導入完了				30		
2	社会保障・税番号制度に対応した情報システム整備（住民情報システム）	社会保障・税番号制度の円滑な導入のため、住民情報システムの改修等を実施します。	個人番号や法人番号の取得管理機能や中間サーバーを介した情報照会・情報提供機能などを整備するため、住民記録システム、税務・国保年金システム等のシステム改修を実施します。 また、国の整備する「情報提供ネットワーク」との接続に必要な、中間サーバー連携機能や統合宛名機能を整備するため、共通基盤システム等のシステム改修を実施します。	○	○	◎	→	ＩＣＴ推進課 戸籍管理課 市民税課 固定資産税課 保険年金管理課	1-1-1 社会保障・税番号制度導入への対応	27	○	各々の業務システムについては、社会保障・税番号制度対応の単体改修を終えています。また、中間サーバーを介した情報照会・提供の実現に向けて、来年度から始まる総合運用テストの前段階として、共通基盤システム等を含めたシステム間の連携テストを実施しています。
				・各システムの改修 ・連携テストの開始	・連携テストの実施 ・国との連携・総合運用テストの実施	国、他市町村との連携	稼働中			28	○	連携テストとして、浜松市との総合運用テストを実施しました。 国・その他機関との総合運用テストは、国のスケジュールに合わせて来年度に実施する予定です。
				評価指標：改修の進捗状況						29		
				・各システムの改修完了 ・連携テストの実施	・連携テストの完了 ・国との連携・総合運用テストの開始	国、他市町村との連携開始				30		
3	社会保障・税番号制度に対応した情報システム整備（個人番号付番関連）	社会保障・税番号制度における個人番号の付番及び個人番号カードの交付に関する事務に必要なシステム機器の整備を行います。	平成27年10月からの個人番号の付番及び平成28年１月からの個人番号カードの交付に向けて、事務に必要な住民基本台帳ネットワーク統合端末機器、個人番号カード等変更事項印字機器等の整備を実施します。	◎	→	→	○	戸籍管理課	1-1-1 社会保障・税番号制度導入への対応	27	◎	平成27年10月の個人番号の付番に合わせて業務プログラムの適用を実施し、確実な運用ができました。 また、平成28年１月からのマイナンバーカードの交付事務に使用できるように、平成27年12月までに統合端末機器、変更事項印字機器等を調達し、設置・設定を完了しました。
				機器調達、運用開始	継続運用	継続運用	・住基ネット標準更改期間に従い、住基ネット機器のみの更新を実施予定 ・その他の機器の継続運用			28	→	安定的で確実な運用を図り、全日停止することなく事業を継続実施しました。
				評価指標：【各種システムの確実な運用】						29		
				システムの確実な運用	システムの確実な運用	システムの確実な運用	システムの確実な運用			30		

スケジュール及び進捗項目　　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
4	社会保障・税番号制度に対応した情報システム整備（福祉分野）	本市が運用する福祉トータルシステム・介護保険システムについて、番号法に対応したシステム改修を行い、市民の皆様にとって利便性の高い、公平・公正な社会を実現するための基盤構築を目指します。	平成29年7月からの実運用開始に向けて、システムの開発・テストを実施いたします。	○ ・システム開発 ・庁内連携テスト着手	○ ・庁内連携テスト完了 ・外部連携テスト着手	◎ ・外部連携テスト完了 ・実運用開始	→ 継続運用	福祉総務課	1-1-1 社会保障・税番号制度導入への対応	27 28 29 30	○ ○	システムの開発は順調に進みましたが、より確実なテストを行うため、庁内連携テストの実施期間を平成28年６月まで延長しました。 他団体との連携を図る外部連携テストも順調に進み、H29.7の情報連携に向けた準備を行いました。
				評価指標：開発作業の進捗状況								
				計画の完全実施	計画の完全実施	計画の完全実施						
5	統合型GISの構築	本市における統合型GISの在り方について、調査・検討を行います。	本市においては、各課で個別GISを活用して、運用しているところですが、統合型GISを構築することによる経費の削減、新たにGISを活用することによる業務の効率化や質の向上が図られるため、統合型GISの在り方について、調査・検討を行います。	△ GIS動向について調査・検討	△ ・作業部会設置 ・GIS利用状況の調査	△ ・作業部会 ・統合型GISシステム検討	○ 統合型GISシステム構築	ＩＣＴ推進課	1-1-2 業務改善	27 28 29 30	△ △	統合型GISの導入に向けて、外部研修等に参加し、情報収集・研究を行いました。 統合型GISの導入に向けて、外部研修等に参加し、情報収集・研究を行いました。
				評価指標：ＧＩＳの利用所属数								
				—	—	—	10所属					
6	開発登録簿等のデータ化	窓口相談や審査事務にあたり、昭和50年から現在までの開発登録簿（約2600件）がすべて紙媒体であるため、情報の検索に時間を要しています。また、災害時に紙媒体であると情報の消失につながる可能性があるなどの問題があるため、開発登録簿をデータ化することにより、事務の効率化、迅速化を図るとともに、適切な管理を行います。	開発登録簿等のデータを既存の地図情報のシステム等に組み込むことの検討を行い、実施し、適切に運用します。	△ 他政令指定都市の状況調査、データ化手法の研究	△ 既存開発登録簿等の整理。情報量の把握、データ化する仕様の検討、方向性の決定	→ 継続	→ 継続	開発指導課	1-1-2 業務改善	27 28 29 30	△ △	他政令市の開発登録簿の電子化の実施状況の調査を行い、その結果をまとめました。これらをもとにデータ化の手法の研究を行いました。 既存開発登録簿等の整理、情報量の把握を行い、データ化する仕様の検討、方向性の決定を行いました。
				評価指標：—								
				—	—	—	—					
7	CALS／ECの推進	従来は紙で交換されていた情報の電子化や、ネットワークを活用した各業務プロセスをまたぐ情報の共有・有効活用により公共事業の生産性向上やコスト縮減等を実現します。	公共事業における、情報の迅速な交換や共有等を可能とし、事業の品質や安全性の向上及びコスト縮減を図るため、調査、設計、施工、納品、維持管理等の一連の手続きの電子化の検討を進めます。また、電子納品された成果物とGISとの連携により、作業の効率化、資料管理の合理化を図り、公共土木施設の効率的な維持管理を実現し、市民や職員への情報を提供するサービス等の構築を目指します。	△ GISをインタフェースとした電子納品保管管理システムとの連携検討	→ GISをインタフェースとした保管管理システム基本設計	→ GISをインタフェースとした保管管理システム詳細設計	◎ GISをインタフェースとした保管管理システムの構築	技術政策課	1-1-2 業務改善	27 28 29 30	○ ◎	GISをｲﾝﾀｰﾌｪｲｽとした保管管理システムの基本設計を行いました。 GISをインタフェースとした電子納品保管管理システムとの連携検討を行った際、30年度まで期間を延ばすと、既存データの処理に莫大な手間が発生することが判明したため、今年度中に保管管理システムの構築を実施しました。
				評価指標：—								
				—	—	—	—					

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
8	簡易水道遠隔監視システム	１７簡易水道施設の維持管理業務の負担軽減のために遠隔監視システムを導入します。	２４時間体制で遠方にある１７簡易水道施設と簡易水道課とをインターネットで結び、遠隔地における機器の集中管理を行うシステムを整備します。	○ 15施設の実施	○ 2施設の実施 システムの運用	○ システムの運用 監視項目の追加	○ システムの運用 監視項目の追加	簡易水道課	1-1-2 業務改善	27	○	１１施設は本年度工事で整備、H27年3月より運用開始です。1施設は近い将来施設廃止予定のため整備を中止しました。3施設は施設自体の築造工事を行っており、本年度中に取り付けが不可能のため来年度での整備予定となりました。
										28	○	27度から延期していた３施設及び28年度整備予定の２施設の整備が完了し、運用中です。 今後は監視の詳細についての調整やデータ蓄積からの施設管理、取り付けられていない施設に対しての水質監視装置の整備が考えられますが、他の工事との調整により延期の可能性があります。
				評価指標：【整備済システムの確実な運用】						29		
				システムの確実な運用	システムの確実な運用	システムの確実な運用	システムの確実な運用			30		
9	当日投票システムの導入	各投票所の名簿対照の円滑化及び名簿対照における人員を削減します。 名簿対照の確実性を向上させ、各種統計に必要な全市分のデータを収集します。	各投票所に当日投票システム（スタンドアローンPCで電算化されたその投票所の名簿が入っているもの）を配備し、入場券に記載されているバーコードによる名簿対照を行うことにより、名簿対照の確実性を向上させます。 当日投票システムを使用することにより、紙の選挙人名簿では収集できなかった全市分の選挙人の投票行動（年代別・時間別等）を調査し、詳細な選挙分析を行います。	○ 一部実施各区１投票所	○ 一部実施実施投票所の拡大	○ 一部実施実施投票所の拡大	○ 一部実施実施投票所の拡大	選挙管理委員会事務局	1-1-2 業務改善	27	○	駿河区の３ヶ所の投票所において実施しました。
										28	○	各区の10ヶ所、計３０ヶ所の投票所において実施しました。
				評価指標：実施投票所数						29		
				3/185	30/185	60/185	90/185			30		
10	シズオカ型オープンデータシステムの推進（カタログサイトの構築）	本市が保有する情報を機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開することにより、行政の透明化・官民協働による新しい公共の実現・新ビジネス創出等による地域活性化を図ります。	本市が保有する情報のうち、オープンデータのニーズがあるデータを優先的に公開していきます。また、公開するデータをまとめたオープンデータカタログサイトの構築及び運用を行います。	◎ ・事業スキームの作成 ・データの公開	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	ＩＣＴ推進課	1-1-3 積極的な情報公開 再掲　2-2-1 提供情報の拡大 再掲　2-2-2 情報提供手段の多様化	27	◎	オープンデータ専用のカタログサイトを構築し、平成27年10月に公開しました。 専用サイトに300種類以上のデータセットを登録し、画像データ等ニーズのあるデータを優先的に提供しています。 また、アプリコンテストを開催した結果、69件のアプリ作品を含む117作品の応募がありました。
										28	→	専用サイトから400種類、5000件以上のデータを提供しました。 データダウンロード数の月平均は985件でした。
				評価指標：（27年度まで）オープンデータを活用したアプリ等活用件数 （28年度から）データダウンロード数（月平均）						29		
				10件	800件	800件	800件			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
11	情報提供の推進	「静岡市情報公開及び個人情報の保護の総合的な推進に関する条例」の規定に基づく保有情報の積極的な提供及び「静岡市情報公開条例」の規定に基づく情報公開の総合的な推進を行うことにより、行政情報の透明性を確保し、もって、市民サービスの向上、市民との協働の促進を図ります。	公文書公開請求が多い情報について、情報保有課からの積極的な情報提供への切り替えを進めます。	◎ ・職員研修の実施 ・実態調査・啓発	→ ・職員研修の実施 ・実態調査・啓発	→ ・職員研修の実施 ・実態調査・啓発	→ ・職員研修の実施 ・実態調査・啓発	政策法務課	1-1-3 積極的な情報公開	27	→	職員向けの情報公開研修を実施し、情報公開制度について周知するとともに公文書公開請求が多い情報について、情報保有課からの積極的な情報提供への切り替えを呼びかけました。
				評価指標：【① 情報提供に切り替えた情報】【② ①の結果減少した公開請求件数】						28	→	職員向けの情報公開研修を実施し、情報公開制度について周知するとともに公文書公開請求が多い情報について、情報保有課からの積極的な情報提供への切り替えを呼びかけました。
										29		
				①1種類 ②年30件	①1種類 ②年25件	①1種類 ②年20件	①1種類 ②年20件			30		
12	自治体クラウド（情報システムのクラウド化の推進）	総務省の示す「電子自治体の取組みを加速するための１０の指針」の一つである「自治体クラウド導入」に向け、クラウドコンピューティング技術を利用した情報システム基盤の構築を検討します。	現在各課が管理するシステムをクラウドコンピューティング技術の利用により「情報システム基盤（プライベートクラウド）」を構築し共同利用（集約化）すれば、各課は機器の調達が不要となります。 ただし、情報システム基盤構築には多額な経費がかかるため、費用対効果やその他必要な検討事項について十分な検討を行ったうえで、長期計画を立てて推進するとともに、最新技術であるネットワークやデスクトップの仮想化導入も検討することにより、更なるシステム最適化を目指します。	△ ・先進自治体の調査 ・技術的な導入可能性の検討	◎ 関係課による検討部会の設置	→ 導入計画の策定の委託	→ 基盤システムの構築	ＩＣＴ推進課	1-2-1 最新技術等の活用	27	△	課内での研究と併せて複数のクラウドサービス実施事業者より導入手法等の意見交換を行いながら、課内における調査を実施しました。
				評価指標：方針決定						28	○	関係課による検討部会を設置・開催すると伴に、関係システムについて、クラウド化のための概要調査、詳細調査を実施しました。その調査結果などに基づきクラウド化基本計画を作成しました。
										29		
				・先進自治体の調査完了 ・技術的な導入可能性の検討完了	関係課による検討部会の開催	導入計画の策定完了	基盤システムの構築完了			30		
13	統合型内部情報システムの構築	仮想化技術やクラウド・コンピューティングの利用により、業務システムのサーバーをプライベートクラウドに統合・集約し、事務の効率化及び調達・保守・運用経費の削減を図ります。	各システム共通の動作基盤となるプライベートクラウドを構築し、物理的なシステム統合を目指します。 平成30年度に更改を迎える財務会計システム、文書管理システム及びグループウェアについて共通認証基盤及び電子決裁機能の導入、仮想化技術を採用したシステム構築を行い、共通事務システムとして統合を行います。	△ ・先進自治体の調査 ・関係課との仕様検討 ・予算要求	○ 契約締結	◎ 開発の実施	→ 本稼動開始	ＩＣＴ推進課	1-2-1 最新技術等の活用	27	△	他都市調査、庁内関係課との調整を経て、新たなシステムの姿を確定し、予算要求を終了しました。28年度には総合評価方式によって事業者を選定し開発に着手します。従来の財務会計システム、文書管理システム、グループウェアを統合したうえで、さらに庶務事務、旅費管理事務を加えて一括調達することとしました。共通認証基盤の整備、電子決裁の全面導入もこれに合わせて行います。
				評価指標：共通事務システム統合の進捗状況						28	○	予定どおり、総合評価方式によって事業者を選定し、9月に契約を締結、平成28年10月より開発に着手しました。 なお、統合型内部情報システムを構成する、財務会計、文書管理、グループウェア、庶務事務の各システムは、データセンターを活用するクラウド型にての整備となります。
										29		
				・統合方針の決定 ・仕様の決定 ・予算要求の実施	・開発委託契約の締結 ・機器リース契約の締結	開発の終了	システム正常稼動			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
14	次期人事給与システムの開発	経年によるシステムの陳腐化、度重なる改修による複雑化が進んだ人事給与システムについて、今後見込まれる制度改正等にも柔軟に対応でき、かつ経費節減が図れるよう、再構築を行います。	本市が利用する人事給与システムの設計・開発、その他の関連する業務を実施します。	○ 要件定義、詳細設計、製造	◎ 製造、各種テスト 本庁人給稼動	→ 全システム本稼働	→ 継続運用	ＩＣＴ推進課	1-2-2 システムの最適化	27	○	要件定義、基本設計、詳細設計を終了し、各プログラムの開発に入った後も順調に推移しています。28年度にはテストも本格化し、10月には一般職員分が稼働、29年4月からは、教職員を対象とする部分も稼働して、全稼動となる見込みです。
				評価指標：		開発の進捗状況				28	◎	開発は順調に推移しました。平成28年10月に一般職員分が稼動、平成29年4月には、教職員を対象とする部分も稼動し、全システム本稼働となります。
										29		
				・要件定義終了 ・詳細設計終了	・プログラム製造終了 ・各種テスト終了 ・本庁人給稼動（H28.10～）	県費負担教職員を含めた全システム稼働（H29.4～）	システム正常稼働			30		
15	住民記録システム・共通基盤システム更改事業	継続的な住民サービス提供のため、基幹系システムである「住民記録システム・共通基盤システム」の安定的で円滑な運用を図ります。	住民記録システム・共通基盤システムを更改するにあたり、運用、維持・管理、セキュリティ対策、費用等の総合的な見地に立って最適なシステム導入を検討します。サーバー機器については、クラウドコンピューティング、仮想化等の最新技術の導入も検討します。	→ 既存システム稼働	△ 情報収集及び検討（先進自治体の調査及び技術的な導入可能性の検討）	△ 新システム検討	△ 新システム検討（H30システム更改）	ＩＣＴ推進課	1-2-2 システムの最適化	27	→	安定的で円滑な運用を図り、全日停止することなく事業を実施しました。
				評価指標：		障害等による稼働全日停止日数				28	→	安定的で円滑な運用を図り、全日停止することなく事業を実施しました。
										29		
				0日	0日	0日	0日			30		
16	税務・国保年金システム機器更改事業	継続的な住民サービス提供のため、基幹系システムである「税務・国保年金システム」の安定的で円滑な運用を図ります。	「税務・国保年金システム」の安定的で円滑なサービス提供のため、導入後５年を経過し老朽化した機器等の更改を実施する。機器更改にあたり、仮想化・Ｗｅｂ化等の最新技術の導入も検討します。	△ 情報収集及び検討	◎ ・機器更改 ・本稼働	→ 稼働中	→ 稼働中	ＩＣＴ推進課	1-2-2 システムの最適化	27	△	平成28年度の機器更改に向け情報収集を行い、無停電電源装置の稼働しない停電及び日本年金機構のデータ流出事故と同様のデータ流出を起こさないための機器等構成を検討しました。
				評価指標：		障害等による稼働全日停止日数				28	◎	平成29年１月までに「税務・国保年金システム」の全ての機器の更改を完了しました。機器更改にあたり、仮想化およびＷｅｂ化を導入しました。
										29		
				0日	0日	0日	0日			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度）				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				評価指標						年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
				27	28	29	30					
17	住民情報系ネットワークの整備	システム運用の基盤である住民情報系ネットワークを整備することにより、継続的な住民サービス提供のため、住民情報システムを安定的で円滑に運用します。	機器更改後５年を経過し老朽化する、住民情報系ネットワーク機器を整備（更改）します。 併せて、清水庁舎内ネットワーク体系の見直しを検討します。	→	→	→	→	ＩＣＴ推進課	1-2-2 システムの最適化	27	△	社会保障・税番号制度対応により、住民情報系ネットワークの一部を新たに構築する必要が生じたため、維持管理・運用・費用面等を考慮して、構築後の運用を開始する来年度以降にまとめて一括更改を行うこととしました。
				庁舎内ネットワーク整備	静清間ネットワーク機器の整備	稼働中	稼働中			28	○	平成28年度は静清間ネットワーク機器の整備を行いました。29年度以降に庁舎内のネットワーク機器の整備を行い、併せて清水庁舎内ネットワーク体系の見直しを検討します。 また、住民情報セキュリティシステムを構築し、住民情報系の端末機において二要素認証を導入する等、情報セキュリティの強靭化を図りました。
				評価指標：	障害等による稼働全日停止日数					29		
				0日	0日	0日	0日			30		
18	市税収納支援システムの更新	平成29年12月末に現行機器のリース期間が満了になることから、サーバなどの機器について最適な環境を目指します。	現行のＯＳ及び現行の機器について、最新の機器に更改しグレードアップを図ることで、サポートや機器保守を安全に受けることができる環境を目指します。	△	△	◎	→	納税課	1-2-2 システムの最適化	27	△	次期システム更新に向け、現行システムにセキュリティ対策の導入(システムログの記録、システムログイン時の二要素認証)を検討しました。
				仕様検討	・仕様検討 ・予算要求	・契約締結 ・開発の実施	稼働中			28	△	次期システムの仕様を決定し、予算要求を行い、開発委託契約、及び機器リース契約の締結準備を進めました。
				評価指標：	開発の進捗状況					29		
				計画書作成	・仕様の決定 ・予算要求の実施	・開発委託契約の締結 ・機器リース契約の締結 ・開発の終了	システム正常稼動			30		
19	静岡市立小中学校校務用パソコン整備業務（更新）	学校における児童生徒の成績管理、名簿管理、出欠管理をはじめとする校務書類の作成が円滑に行えるように、パソコンを整備します。	学校における児童生徒の成績管理、名簿管理、出欠管理をはじめとする校務書類の作成のためのパソコンを更新します。	△	◎	→	→	教育施設課	1-2-2 システムの最適化 再掲3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	△	静岡市教育クラウドの構築で検討中の校務支援システムの導入に合わせて、校務用パソコンも整備していく方針となりました。
				導入計画を作成	導入（更新）	継続運用	継続運用			28		
				評価指標：	平成28年度の導入（更新）					29		
				―	導入（更新）	―	―			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				27	28	29	30			年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
H28 新規	（新）税務・国保年金システム機器導入検討事業	経年によるシステムの陳腐化、度重なる改修による複雑化が進んだ「税務・国保年金システム」について、今後見込まれる制度改正等にも柔軟に対応でき、かつ経費節減が図れるよう、検討を行います。	平成33年度からの実運用開始に向けて、システムの仕様検討、開発に向けて使用の検討を行います。	―	△ 情報収集	△ 仕様検討	○ ・仕様検討 ・予算要求	税制課	1-2-2 システムの最適化	27		
										28	△	税務部各課より各業務に詳しい職員を集めてワーキンググループを作り、次のような活動を行いました。 ・他の政令指定都市の仕様システムについて照会を行いました。 ・ベンダ数社からシステムの仕様、概算額について情報収集しました。
				評価指標：	開発の進捗状況					29		
				―	概算額の把握	仕様の検討	・仕様の決定 ・予算要求の実施			30		
20	情報システム開発マニュアル（調達編）の整備	情報システム開発マニュアル（調達編）を整備することにより、各課において適切なシステム調達を行うことができます。	システム調達における手順や留意事項等を記載した「情報システム開発マニュアル（調達編）」を整備し、全庁的に当該マニュアルに沿って調達事務を行うことで、システム構築等における手戻り等を防止し、適切なシステム調達を行う事ができます。	◎ マニュアルの整備	→ マニュアルによる運用	→ マニュアルによる運用	→ マニュアルによる運用	ＩＣＴ推進課	1-2-3 評価制度	27	○	システム調達を効率的に行うべく、「情報システム開発マニュアル」（調達編）の作成に着手しました。
										28	○	システムのライフサイクルを効率的に管理すべく、「情報システム開発マニュアル（企画編）」の改編及び「情報システム開発マニュアル（運用保守編）」を作成しました。
				評価指標：	―					29		
				-	-	-	-			30		
21	ITアドバイザーの活用	外部のIT専門家から包括的な支援を受け、費用対効果を意識しつつ、新しい情報通信技術の活用、システムの最適化等を推進します。	情報システムの最適化にあたり、外部のIT専門家からITガバナンスのみならず技術的な課題解決を含めた支援を受けます。	→ 情報化推進支援	◎ ・業者選定 ・情報化推進支援	→ 情報化推進支援	→ 情報化推進支援	ＩＣＴ推進課	1-2-3 評価制度	27	→	予算要求等が必要なすべての業務システム関連案件（28案件）について、事前審査及び助言を行いました。 また、システム稼働後１年以上２年未満のシステムから抽出した５案件を対象に、システム導入後の効果検証を実施しました。
										28	→	予算要求等が必要なすべての業務システム関連案件（33案件）について、事前審査及び助言を行いました。 また、システム稼働後１年以上２年未満のシステムから抽出した５案件を対象に、システム導入後の効果検証を実施しました。
				評価指標：	助言件数					29		
				４０件以上	４０件以上	４０件以上	４０件以上			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度）				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				評価指標						年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
				27	28	29	30					
22	第２期静岡市情報セキュリティ実施計画の策定・運用	第３次静岡市総合計画に合わせ、平成27年度から30年度に行う情報セキュリティに関する取組と考え方を示した第２期静岡市情報セキュリティ実施計画を策定し、もって、体系的な情報セキュリティ対策事業を展開していきます。	策定した第2期静岡市情報セキュリティ実施計画に基づく各種の事業について、運用・進捗管理・効果測定を行います。	→ 計画の運用	→ 計画の運用	→ 計画の運用	→ ・計画の運用 ・次期計画の策定	ＩＣＴ推進課	1-3-1 情報セキュリティポリシーの遵守	27	→	計画どおりの運用を行うとともに、情報セキュリティポリシーの見直しを２回実施しました。
				評価指標：	ポリシー関連文書の見直し					28	→	計画どおりの運用を行うとともに、情報セキュリティポリシーの見直しを１回実施しました。
										29		
				1回以上	1回以上	1回以上	1回以上			30		
23	情報セキュリティ研修の実施	職員の情報セキュリティ意識の向上を図り、脅威や脆弱性に対する正しい知識を身につけることを目指していきます。	新職員・非常勤職員等の階層別の研修、情報セキュリティ管理者・情報セキュリティ担当者等の役割別の研修を実施し、併せてe-ラーニングシステム「エスナビ」を用いた全職員向けの研修を実施します。	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	ＩＣＴ推進課	1-3-1 情報セキュリティポリシーの遵守 再掲2-3-2 ICTリテラシー研修	27	→	全職員を対象にしたe-ラーニング研修を１回実施したほか、階層や役割に応じた集合研修を含め、計29回6,905人に実施しました。
				評価指標：	全職員を対象にしたe-ラーニング研修の実施回数					28	→	全職員を対象にしたe-ラーニング研修を2回実施したほか、階層や役割に応じた集合研修を含め、計19回11,082人に実施しました。
										29		
				1回	1回	1回	1回			30		
24	情報セキュリティ外部監査・内部監査の実施	情報セキュリティ上の問題を発見し、継続的な改善を図るため、第三者の視点から静岡市情報セキュリティポリシーの遵守状況を検証し、及び外部専門家から指導を受けた職員を内部監査員として養成することを通じて、情報セキュリティの継続的な改善及び情報セキュリティ意識の高い人材育成を図っていきます。 また、専門家による内部監査員の養成研修を通じて、情報セキュリティ意識の高い職員の育成を図ります。	外部専門家による情報セキュリティ外部監査、及び外部専門家の研修を受講した内部監査員による内部監査を実施した結果、改善が必要と提言を受けた所属においては、再発防止改善策を実施します。 また、内部監査員の養成等、職員向けに研修を実施します。	→ 外部監査及び内部監査の実施	→ 外部監査及び内部監査の実施	→ 外部監査及び内部監査の実施	→ 外部監査及び内部監査の実施	ＩＣＴ推進課	1-3-2 外部専門家による支援	27	→	外部監査10所属、内部監査20所属を対象に実施しました。外部監査における緊急度中以上の改善提言を受けた所属は3所属でした。
				評価指標：	情報セキュリティ外部監査において緊急度中以上の改善提言を受けた所属数					28	→	外部監査10所属及び指定管理者5団体、内部監査20所属を対象に実施しました。外部監査における緊急度中以上の改善提言を受けた所属は４所属でした。
										29		
				５所属以下	５所属以下	５所属以下	５所属以下			30		
25	IT資産管理の構築・運用	静岡市情報セキュリティポリシーに基づき、ソフトウェア等のIT資産管理の適正化を行う仕組みを導入することにより、市の所有端末、保有するソフトウェアライセンスや導入ソフトウェアを正確に突合し、把握することができることから、市としてコンプライアンスの向上を図っていきます。	ソフトウェア資産管理に係る国際標準であるISO／IEC19770-27に基づくIT資産管理に関し、外部専門家の指導を受けながら庁内体制の整備や規程整備を行います。	→ 調査・管理方針策定	→ 規程整備・試験運用	→ 運用開始・運用改善	→ 運用・運用改善	ＩＣＴ推進課	1-3-2 外部専門家による支援	27	→	利用ソフトウェア分析、現地抽出調査等を実施し、IT資産管理適正化方針を策定しました。
				評価指標：	管理方針に基づく進捗状況					28	○	ライセンス管理規程を整備しました。また、専門家の指摘により、適正化ツールの導入を先送りし、ライセンス保有状況調査を実施しました。
										29		
				管理方針策定	規程整備・試験運用	運用	運用			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
26	ＩＣＴ部門の業務継続計画のマネジメント	あらかじめ対策を講じておくことで、地震等の災害が発生した際に受ける情報システムへの被害をできるだけ少なく（予防対策）するとともに、万一被害を受けた場合でも情報システムをできるだけ短時間で復旧（復旧対策）します。	ICT部門の業務継続計画に基づき、訓練（安否確認訓練、各区参集訓練、他課合同・業者連携訓練ほか）を実施し、訓練結果等に基づく事前対策の実施や内容の見直し（地域防災計画に基づく被害想定の変更に対応等）等を実施します。 また、システム利用課を対象とした業務継続計画（案）を提示し、策定を促進していきます。	→ 計画の運用	→ 計画の運用	→ 計画の運用	→ 計画の運用	ＩＣＴ推進課	1-3-3 ICT部門の業務継続マネジメント	27	→	本年度全庁的に策定を進めている業務継続計画に合わせたICT部門の業務継続計画の見直しを進めています。
										28	→	本年度７月に公開された業務継続計画（地震対策編）に合わせたICT部門の業務継続計画の見直しを進めています。
				評価指標：	運用に基づく関連文書の見直し検討					29		
				1回以上	1回以上	1回以上	1回以上			30		
27	被災時用住記情報参照等システムの運用	被災時に電源復旧した市政端末（PC）のみで、被災時に必要な住民記録データを参照し、効果的に活用します。	被災時に必要な住民記録データの抽出項目の見直しや、災害時に円滑に閲覧可能となるよう防災訓練時にＢＣＰの一環として訓練を実施します。	△ 起動訓練の実施	○ 起動訓練	→ 起動訓練	→ 起動訓練	ＩＣＴ推進課	1-3-3 ICT部門の業務継続マネジメント	27	→	総合防災訓練の実施に合わせ、同システムの寄贈実施訓練等を実施しました。
										28	→	総合防災訓練の実施に合わせ、同システムの寄贈実施訓練等を実施しました。
				評価指標：	システムの起動訓練の実施					29		
				1回	1回	1回	1回			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

2　快適な市民生活の実現

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
28	電話サービスのあり方の検討	市民からの問い合わせ対応の電話サービスについて、サービス充実を図ります。	電話サービス充実のための検討を進めます。代表電話とコールセンターの統合を含めて、方向性を検討していきます。	△ 代表電話とコールセンターについて方向性を検討	→ （コールセンター契約はH24～H28）	◎ 方向性確定	→ H29確定事項の実施	広報課	2-1-1 生活情報の発信	27	△	代表電話とコールセンターの方向性について、調査・検討を行いました。
										28	→	コールセンター契約の更新にあたり、調査・検討を行いました。平成29年度からの契約（平成29年度から平成33年度まで）では、代表電話とコールセンターを統合せず、それぞれ継続していくこととしました。ただし、代表電話とコールセンターの利用件数及び利用実態について、継続的に調査・検討を行っていきます。
				評価指標： -						29		
				-	-	-	-			30		
29	道路管理統合GISの運用	道路利用者に対し、災害や工事などの通行規制情報を、グーグルマップを用いて公開するなど、様々な手段で情報提供することで、安全で快適な通行を支援します。	迅速な災害対応と安全な道路利用環境を提供するためのシステム「道路情報等提供システム」を拡充していきます。大規模災害時に、職員がタブレット端末などで収集した道路被災情報を、クラウド型の道路管理統合GISを用いた静岡市道路通行規制情報「しずみちinfo（インフォ）にて、道路利用者に情報提供します。	○ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	道路保全課	2-1-1 生活情報の発信 再掲2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	○	アンダーパス6箇所に冠水センサーを設置し、システムに冠水情報を取り込む機能を構築しました。 また、トヨタ自動車でIT関連の研究を行っている「株式会社トヨタIT開発センター」と、「クルマ」と「道」と言った密接する情報をマッシュアップさせ、新たな住民サービスを模索する業種を超えた実証実験を行い、この実証実験がｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｰﾀに関する優れた取り組みとして、ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構（ＶＬＥＤ）から最優秀賞に選出されました。 実験の成果である、APIでのリアルタイム情報公開は、今後様々なサービス開発に活用される可能性を秘めています。
										28	○	新たにアンダーパス4箇所に冠水センサーを設置し、システムに冠水情報を取り込む機能を構築しました。 また、共同実験で構築したAPIによるリアルタイムオープンデータ提供を9月に運用開始し、企業などを対象にAPI説明会を東京と静岡で開催しました。このAPIによるオープンデータ提供方式の先進性が認められ、「しずみちinfo」をモデルとして、ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構（VLED）での通行規制情報の標準化、情報処理推進機構(IPA）での共通語彙の検討化事業に参加しています。そして、この取組みがICTにおける優れた取り組みとして、ICT地域活性化大賞2016の優秀賞を受賞しました。
				評価指標： 道路上のセンサ情報導入						29		
				アンダーパス冠水監視取込　8箇所	－	アンダーパス冠水監視取組11箇所	－			30		
30	静岡市自殺対策ホームページ（「しずここネット」）の運用	静岡市自殺対策行動計画に基づき、自殺対策を推進するために、ホームページで自殺対策に関する情報を発信します。	悩んでいる本人や、その周りで支える人等に対し、自殺対策に関連した情報や相談窓口等を関連のホームページとリンクさせながら周知と普及啓発を図ります。	◎ 自殺対策に関する情報を発信	→ 継続実施	→ 継続実施	→ 継続実施	精神保健福祉課	2-1-1 生活情報の発信 再掲3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	◎	ホームページの改修を行い、相談窓口の検索機能を追加する等、速やかな情報提供を図りました。アクセス件数は、1か月あたり約4,400件でした。
										28	→	ホームページを活用したマンガ募集事業の投票を行い、本市ホームページへのアクセスを促しました。3月の強化月間に合わせ電子書籍を配信し、アクセスの増加が見込まれるため、年間アクセス数は、4000件程度となる見込みです。
				評価指標： ホームページへのアクセス件数						29		
				3,800件/月	3,900件/月	3,900件/月	3,900件/月			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
31	食の安心・安全情報の発信（「たべしずねっと」の運用）	広報活動の充実により、市民が食品の安全性の確保に関する知識と理解を深めることを目指します。	静岡市の食の安全や食育、地産地消に関する情報を発信するウェブサイト「たべしずねっと」を管理・運営します。また、食の安全や食品表示の情報、「たべしずねっと」の新着情報などを掲載したメールマガジンを発行します。	→	→	→	→	食品衛生課	2-1-1 生活情報の発信 再掲3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	→	「たべしずねっと」を継続的に運用しています。 平成27年度は2月までに699件のコンテンツを更新しました。
				サイトの運営管理	継続運用	継続実施	継続運用			28	→	「たべしずねっと」を継続的に運用しています。 平成28年度は1月までに679件のコンテンツを更新しました。
				評価指標：	コンテンツの追加数					29		
				150	150	150	150			30		
32	子育て情報の発信（「ちゃむしずおか」の運営）	妊娠・出産期から子育て期までの子育てに関する情報を幅広く提供し、市民の利便性の向上を図ります。	子育てに関する行政情報や制度案内をはじめ、サークル紹介、イベント情報などを総合的に掲載したウェブサイトを管理運営します。携帯やスマートフォンにも対応するほか、SNSを活用した情報発信を行います。	→	→	→	→	子ども未来課	2-1-1 生活情報の発信 再掲3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	→	制度案内や子育てに関する講座・イベント情報の発信を随時行っています。また、twitter・Facebookを開設し、定期的な投稿をしています。トップページアクセス数は月平均6,500件程度です。
				子育て情報の発信	継続運用	継続運用	継続運用			28	→	Twitter、Facebookと連動し、子育てに関わる各種事業及び講座・イベント情報の発信を行いました。トップページのアクセス数は月平均4,700件程度です。また、子育てしやすい街をＰＲする動画を作成し、市外に向けての情報発信も行いました。
				評価指標：	【トップページアクセス件数／月】					29		
				11,000件	12,000件	13,000件	14,000件			30		
H27 新規	駿河区情報発信サイト 「スルマガ」 の運用	駿河区では、女性・若者などをメインターゲットに、市ホームページなど既存の媒体に加え、民間のSNSなどを活用して情報発信力を向上します。	地域ポータルサイト「まちぽ」の中に、駿河区特集ページ「スルマガ」を作成し、行政情報と民間情報の連携による情報提供を行います。	◎	→	→	→	駿河区地域総務課	主　2-1-1 生活情報の発信 再掲3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	◎	サイトを構築し、公開しました。
				・サイト構築 ・公開	運用	運用	運用			28	→	駿河区の様々な官民情報を一年間随時発信しました。平成29年１月末現在、アクセス数50,000ＰＶ以上を達成することができました。
				評価指標：	アクセス数（年間）					29		
				公開	50,000PV	60,000PV	70,000PV			30		
33	電子申請システムの運用	市民や民間事業者が市に対する申請・届出等を行う際に、インターネットを通じて、各家庭のパソコン・携帯電話から「いつでも」「簡単に」公文書公開請求やパブリックコメント等の手続を行うことができるようにします。	県下34市町及び県とポータルサイトを共有し、利便性を図り、電子申請手続きの公文書の公開請求、21類型の行政手続、各種申込手続等、市民サービス向上のため、市民向け手続数及び申請件数の拡充を図ります。 また、手続数を増やすことに努めるとともに、サービスを普及させるための広報を実施していきます。	→	→	→	→	ＩＣＴ推進課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	→	広報やホームページでの周知の他、「職員採用試験申込」、「こども園の欠席・遅刻届」を電子申請受付可能とした結果、申請件数は昨年度に比べ大幅に増加しました。（平成26年度：11,874件→平成27年度２月時点：15,445件）
				・市民向け手続数及び申請数の拡充 ・リーフレットの配布	・市民向け手続数及び申請数の拡充 ・リーフレットの配布	・市民向け手続数及び申請数の拡充 ・リーフレットの配布	・市民向け手続数及び申請数の拡充 ・リーフレットの配布			28	→	広報やホームページでの周知の他、「職員採用試験申込」、「こども園の欠席・遅刻届」を電子申請受付可能とした結果、申請件数は昨年度に比べ大幅に増加しました。（平成27年度２月時点：15,446件　→　平成28年度２月時点：16,931件）
				評価指標：	申請件数					29		
				前年度３%増	前年度３%増	前年度３%増	前年度３%増			30		

スケジュール及び進捗項目　　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
34	申請書ダウンロードシステムの運用	市民や民間事業者が市に対する申請・届出等を行う際に、インターネットを通じて、各家庭や職場のパソコンから「いつでも」「簡単に」、市ホームページから申請書等の様式をダウンロードできるようにします。	市民や民間事業者が市ホームページから、申請書、届出書等の様式をダウンロードできるサイトの運用管理を行います。 また、ダウンロード可能な様式を増やすことに努めるとともに、サービスを普及させるための広報を実施していきます。	→ ・申請数の拡充 ・リーフレットの配布 ・安定運用	→ ・申請数の拡充 ・リーフレットの配布 ・安定運用	→ ・申請数の拡充 ・リーフレットの配布 ・安定運用	→ ・申請数の拡充 ・リーフレットの配布 ・安定運用	ＩＣＴ推進課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	→	安定的で円滑な運用をすることができました。平成28年2月末現在、240,000件以上達成することができました。
				評価指標：ダウンロード数						28	→	安定的で円滑な運用をすることができました。平成29年2月末現在、280,000件以上達成することができました。
										29		
				300,000ダウンロード以上/年	300,000ダウンロード以上/年	300,000ダウンロード以上/年	300,000ダウンロード以上/年			30		
35	静岡斎場火葬予約システムの更新検討	平成50年まで増加すると予想される火葬需要に対して、火葬及び霊柩自動車の予約を円滑に行うとともに斎場運営上の入力負荷の軽減を図り、事務処理の正確性の向上を図ります。	静岡斎場で稼動中の火葬予約システムは、音声応答によるものであるが、次期の更新時にはインターネットからの予約システムに移行することを検討します。	△ 調査、システム検討	△ 調査、システム検討	△ 調査、システム検討	◎ ・システム構築 ・運用開始	戸籍管理課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	△	インターネットを利用した火葬予約システムの開発に係る仕様の検討を行いました。
				評価指標：火葬予約システムの確実な運用						28	△	他市の導入状況を調査し、インターネットを利用した火葬予約システムの開発に係る仕様の検討を行いました。
										29		
				－	－	－	システム運用による事務処理の正確性の向上			30		
36	生涯学習施設予約システムの運用	より多くの市民が生涯学習施設を気軽に利用できるよう、インターネットを利用したシステムサービスを提供し、利便性の向上を図ります。	インターネットを利用した生涯学習施設予約システムサービスの提供を行います。	→ 施設予約システムサービスの提供	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	生涯学習推進課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	◎	当該サイトは、パッケージ型システムを導入していますが、システム開発業者及び施設職員と連携を図り、不要な機能を削除するなどして、さらなる窓口業務の効率化や施設職員の負担軽減、サービス提供の改良を目指しています。 また、平成28年6月の両河内生涯学習交流館の開館に向け、２月よりシステムの改修作業を実施しています。28年4月には市民へのサービス提供を開始する見込みです。
				評価指標：システム障害によるサービス停止件数						28	◎	当該システムが、本市の生涯学習施設運営により沿ったシステムとなるよう、28年度も引き続きシステム開発業者及び施設職員との協議を進めており、窓口業務の効率化及び施設職員の負担軽減、ならびに市民サービス向上に努めております。 また、平成29年度7月の小島生涯学習交流館の移転開館に向け、2月よりシステムの改修作業を実施しています。29年4月には市民へのサービス提供を開始する予定です。
										29		
				0件	0件	0件	0件			30		
37	スポーツ施設予約システムの運用	スポーツ振興課で所管している各スポーツ施設の予約及び施設利用における利用者登録をシステム管理することにより、予約状況や利用者情報の管理を正確且つ円滑に把握し、利用者にとって施設利用しやすい環境を整えることを目的としています。	平成22年より稼働している予約システムを継続して運用し、施設利用及び窓口での手続き等の実態に応じて改善を図ります。	○ ・施設データの修正・変更作業 ・ペナルティ等再整備	◎ 修正完了 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	スポーツ振興課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	○	制度及び使用料変更に伴い、所要の改修を実施しました。
				評価指標：－						28	◎	平成27年度に実施した改修は完了しました。 平成28年度においても施設改修及び利用料金の変更に伴う所要の改修を実施し、完了しました。
										29		
				－	－	－	－			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度）				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				評価指標						年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
				27	28	29	30					
38	都市計画情報ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ提供ｻｰﾋﾞｽ	行政情報の提供手段の多様化・高度化を図ります。	インターネットを通じて、特別なソフトをインストールすることなく、地番・住所等の検索により、場所の地図を表示し、都市計画決定した内容を一般に公開します。	→ システムの維持管理	→ システムの維持管理	→ システムの維持管理	→ システムの維持管理	都市計画課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	→	システムの維持管理を実施しました。
				評価指標：		－				28	→	システムの維持管理を実施しました。
										29		
				－	－	－	－			30		
39	公園施設予約申請システムの構築	本市が管理する公園施設において、利用頻度が高い施設について、紙による申請から電子申請による処理を行うことにより、24時間ネット上での受付が可能となり、申請者、施設管理者双方の事務効率の向上を図ります。	清水月見公園テニスコート利用受付業務全般のシステムを構築し、申込・抽選・許可処分等、これら一連の事務を電子処理を行います。	△ 事業スキームの作成	◎ 運用開始	→ 継続運用	→ 継続運用	都市計画事務所	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	△	公園施設予約申請システムの構築を考えましたが時期尚早と判断し、今後の課題とします。
				評価指標：		処理時間（h）				28	△	システムの構築については時期尚早と判断し、システム導入以外の業務の効率化を検討しました。
										29		
				1060	230（想定）	230（想定）	230（想定）			30		
40	官民境界確定資料のデジタル化	官民境界確定資料は、マイクロフィルムで保管し葵区及び駿河区の資料は土木管理課、清水区の資料は土木事務所の各窓口で情報提供を行っています。 境界確定資料をデジタル化し、情報の一元化により両窓口で全市の資料が扱え、また資料提供までの検索、交付までの迅速化により利便性の向上を図ります。	官民境界確定資料をデジタル化します。また現在運用されている道路台帳システムの改良を行い検索、印刷機能を追加しファイリングシステムを構築します。	◎ ・境界確定資料デジタル化 ・道路台帳システム改良	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	土木管理課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	◎	境界確定資料デジタル化業務委託は平成27年12月末までに完了しました。件数は約47,500件となりました。 道路台帳システム改良業務委託は平成28年３月中旬に完了し、４月から供用の見通しです。
				評価指標：		デジタル化された資料件数				28	→	平成28年度境界確定資料デジタル化件数は3,738件となりました。 道路台帳システム改良業務委託は平成28年３月中旬に完了し、４月から供用開始済みです。
										29		
				46,000件	1,600件	1,600件	1,600件			30		
41	静岡市道路台帳図情報インターネット提供サービス	市役所に足を運ぶことなく、事務所、自宅等で路線名、道路幅員等が確認できるように市民サービスの向上を図ります。	静岡市道路台帳図、路線名等情報をインターネット上で公開します。	◎ 道路台帳図情報公開	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	土木管理課	2-1-2 電子行政サービスの充実	27	→	アクセス数は１月末時点で36,687件であり、前年比102.8%です。（前年１月末時点アクセス数35,705件）
				評価指標：		アクセス数				28	→	アクセス数は１月末時点で38,761件であり、前年比105.7%です。（前年１月末時点アクセス数36,687件）
										29		
				42,000件/年	42,000件/年	42,000件/年	42,000件/年			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
42	番号制度の活用	番号制度を活用することで、各種手当の申請において、証明書等の書類の添付が原則不要になり、市民の負担を軽減するほか、関係各機関間における電子データによる情報連携により、事務能率の向上を図ります。	番号制度を利用して、国や他の地方公共団体等、関係各機関との間で、電子データによる情報連携を実施します。また、個人番号や個人番号カードの独自利用を検討します。	△○ △ ・ｼｽﾃﾑ設計・開発、一部実施(H28.1) ・独自利用検討	→ → ・継続 ・継続	◎ → ・実施(H29.7) ・継続	→ ○ ・継続 ・一部実施	行政管理課等	2-1-3 個人番号カードの活用	27	△○ ○	社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入に関するシステム設計・開発については、ＩＣＴ推進課などの所管部署において実施しました。また、平成28年１月からは、窓口における手続の一部においてマイナンバーの記入が必要となる等、制度の運用が一部開始されました。 マイナンバー（個人番号）やマイナンバーカード（個人番号カード）の独自利用については、まず、マイナンバーを独自利用する事務として４事務を条例に規定しました。また、カードの独自利用については、平成28年１月18日から住民票の写しや印鑑登録証明書等のコンビニ交付サービスを開始しました。
				評価指標：【上段：添付書類削減率、下段：独自利用した事業数】						28	→ →	社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）導入に関するシステム設計・開発については、ICT推進課等の所管部署において、浜松市との情報照会・提供テストといった「総合運用テスト」を実施しました。 また、マイナンバー（個人番号）やマイナンバーカード（個人番号カード）の独自利用については、国や他市等の動向を見ながら、静岡市の施策との連携や費用対効果の観点から情報収集に努めました。
										29		
				― ―	― ―	100% ―	100% １事業			30		
43	住民票等の証明書コンビニ交付サービス事業の検討	平成28年１月から配付される個人番号カードを利用したコンビニエンスストアでの住民票の写し等の証明書交付サービスの導入を検討します。	証明書コンビニ交付サービスに必要な既存システムの改修や交付サービス参加の手続きを行うとともに、交付サービスの導入後におけるシステムの保守や運用支援体制の確保など、必要な事務、費用等の調査及び検討を行います。	△ 調査、内容検討	△ 調査、内容検討	△ 調査、内容検討	△ 調査、内容検討	戸籍管理課	2-1-3 個人番号カードの活用	27	◎	平成28年１月からのマイナンバーカードの交付に合わせた証明書コンビニ交付サービスの開始に向けて、費用等の調査及び検討を行い、その結果を踏まえ、必要なシステム整備等を実施し、平成28年１月にサービスを開始しました。
				評価指標：コンビニ交付サービス事業の早期導入						28	→	安定的で確実な運用を図り、全日停止することなく事業を継続実施しました。
										29		
				検討結果を踏まえ、事業の早期導入						30		
H27 新規	証明書コンビニ交付サービス事業における取得可能証明書の拡大の検討	平成28年１月から開始した証明書コンビニ交付サービスに、市外住民を対象にした本籍地での証明書交付が、平成28年度中に追加できることになったことから、サービスの拡大を検討します。	戸籍謄抄本、戸籍の附票の写しについて、本籍地証明をコンビニ交付サービスで対応するために必要な既存システムの改修・機能追加や導入後のシステム保守・運用体制の確保など、必要な事務、費用等の調査及び検討を行います。	△ 調査、内容検討	△ 調査、内容検討	△ 調査、内容検討	△ 調査、内容検討	戸籍管理課	2-1-3 個人番号カードの活用	27	△	戸籍証明における本籍地証明書交付サービスの追加導入について、導入に向けた調査及び検討を行いました。
				評価指標：本籍地証明書交付サービスの追加導入						28	△	戸籍証明における本籍地証明書交付サービスの追加導入について、他都市の導入状況把握及び内容の検討を行いました。
										29		
				検討結果を踏まえ、サービスの追加導入						30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
44	静岡市ホームページ利用者のアクセス機会の拡大	メディアミックス広報による積極的な情報発信を行っていくため、静岡市ホームページのウェブアクセシビリティを向上させます。	ウェブアクセシビリティが向上した、リニューアル後の静岡市ホームページの維持・管理を進めます。	◎ ホームページリニューアル(H26末)	→ ・各課担当者向けウェブアクセシビリティ研修の実施 ・定期的なホームページのメンテナンス	→ ・各課担当者向けウェブアクセシビリティ研修の実施 ・定期的なホームページのメンテナンス	→ ・各課担当者向けウェブアクセシビリティ研修の実施 ・定期的なホームページのメンテナンス	広報課	2-2-1 提供情報の拡大 再掲2-2-2 情報提供手段の多様化	27 28 29 30	→ →	平成27年度末の総アクセス数見込1,619万件です。 ※H28.2末現在　14,837,220件 平成28年度末の総アクセス数見込1,630万件です。 ※H29.2末現在　15,675,760件
				評価指標：【ホームページ総アクセス数】								
				1,665万件	1,673万件	1,681万件	1,689万件					
再掲	シズオカ型オープンデータシステムの推進（カタログサイトの構築）	本市が保有する情報を機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開することにより、行政の透明化・官民協働による新しい公共の実現・新ビジネス創出等による地域活性化を図ります。	本市が保有する情報のうち、オープンデータのニーズがあるデータを優先的に公開していきます。 また、公開するデータをまとめたオープンデータカタログサイトの構築及び運用を行います。	◎ ・事業スキームの作成 ・データの収集公開	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	ＩＣＴ推進課	1-1-3 積極的な情報公開 再掲　2-2-1 提供情報の拡大 再掲　2-2-2 情報提供手段の多様化	27 28 29 30	◎ →	オープンデータ専用のカタログサイトを構築し、平成27年10月に公開しました。 カタログサイトには300種類以上のデータセットを登録し、画像データ等ニーズのあるデータを優先的に提供しています。 また、アプリコンテストを開催した結果、69件のアプリ作品を含む117作品の応募がありました。 専用サイトから400種類、5000件以上のデータを提供しました。 データダウンロード数の月平均は985件でした。〃
				評価指標：（27年度まで）オープンデータを活用したアプリ等活用件数 （28年度から）データダウンロード数（月平均）								
				10件	800件	800件	800件					
45	ソーシャルメディアの活用	メディアミックス広報による積極的な情報発信を行っていくため、ソーシャルメディアを活用します。	現在運用中の静岡市Facebookと静岡市Twitterを活用した積極的な情報発信を継続的に行っていきます。 また、市が運用しているソーシャルメディアをホームページ上に一覧掲載しており、より一層の利活用を推進しています。	→ 各課と連携したメディアミックス広報の実施	→ 各課と連携したメディアミックス広報の実施	→ 各課と連携したメディアミックス広報の実施	→ 各課と連携したメディアミックス広報の実施	広報課	2-2-2 情報提供手段の多様化	27 28 29 30	→ →	・Facebookページのいいね！数　3,725件を達成しました。 ・Twitterのフォロワー数　1,866人を達成しました。 ・Facebookページのいいね！数　4,652件を達成しました。 ・Twitterのフォロワー数　2,952人を達成しました。
				評価指標：【Facebookページのいいね！数・Twitterのフォロワー数】								
				いいね！3,000件 フォロワー850人	いいね！3,250件 フォロワー1,100人	いいね！3,500件 フォロワー1,350人	いいね！3,750件 フォロワー1,600人					
46	電子交流掲示板の構築	新しい形の市民活動の拠点として、バーチャル（仮想現実）の世界に「電子交流掲示板」を立ち上げ、インターネット上で、誰もが気軽に自由に市民活動に関する情報のやり取りができるようにしていきます。	これまでの市民活動センターでの市民活動団体同士の交流支援に加え、「電子交流掲示板」といったネット上で、「市民個人が、市民活動を知り、参加や応援ができる」、「市民活動団体が活動を紹介し、会員や寄附を募る」、「市役所各課が事業実施にあたり、協働相手を募集する」といった市民活動に関する『情報広場』の構築を検討します。	△ ・事業スキームの作成 ・情報収集	△ 情報収集	○ 市HPを使用した試用版の運用	◎ 実施	市民自治推進課	2-2-2 情報提供手段の多様化 再掲3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進	27 28 29 30	△ △	事業スキームの作成、情報収集等を行いました。 「シチズンシップに富んだ人づくりを目指し、「静岡シチズンカレッジ　こ・こ・に」の修了生を活かすとともに、市民が自分の住む地域を知り、積極的にまちづくりに関わることができる仕組みを構築する」ことに目的を修正しました。また、予算要求を行い、仕様書の作成を行いました。
				評価指標：平成30年度からの運用開始								
				―	―	―	アクセス数					

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
47	公衆無線LANポータルサイト「Shizupass」関係事業	官民連携の協議会（静岡市、静岡商工会議所、静岡市まちづくり公社、静岡観光コンベンション協会、ＮＰＯ法人静岡情報産業協会）で実施している公衆無線ＬＡＮ事業の一つで、地域活性化や市民等の利便性向上、観光施策の推進及び災害対応力の向上を図ります。	無料Wi-Fiスポット接続時に表示する公衆無線ＬＡＮポータルサイト「ShizuPass」の運用管理を実施します。 また、ポータルサイトを活用することにより、地域活性化や市民等の利便性向上、観光施策の推進及び災害対応力の向上を図ります。 このため、月１回定例会を開き、ポータルサイトの更なる充実を図るとともに、Ｇ空間シティ構築事業と連携させることにより、災害時にも対応したポータルサイトを構築します。	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	ＩＣＴ推進課	2-2-2 情報提供手段の多様化 再掲　3-2-2 集客情報の受発信強化	27	→	イベント情報や特集等の掲載コンテンツを充実させることにより、月平均10,000アクセスを達成しました。
				評価指標：　アクセス数						28	→	イベント情報や特集等の掲載コンテンツを充実させることにより、月平均16,000アクセス以上を達成しました。 また、国が実施する訪日外国人向け広報活動事業と連携し、広報周知を図りました。
										29		
				10,000アクセス/月	10,000アクセス/月	10,000アクセス/月	10,000アクセス/月			30		
48	ガバメント2.0の検討	ICTを利活用し、市民が公共サービスや政策の決定に積極的に参画することで、効率的な行政の実現を目指します。	先進市の事例等を踏まえ、本市の事業についてICTを利活用した市民が行政に参画しやすい仕組みを調査・研究します。	△ 調査・研究	△ 調査・研究	△ 調査・研究	△ 調査・研究	ＩＣＴ推進課	2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進	27	△	市民参画関係課と定期的に協議を行い、ＩＣＴを利活用した市民が行政に参画しやすい仕組みの調査・研究を行いました。
				評価指標：　施策の実施						28	△	オープンガバメントに関係するセミナー等に参加し、調査・研究を行いました。また、市民参画関係課が29年度に構築する市民協働サイトの内容等について、識者や関係者等にヒアリング等を行いました。
										29		
				－	－	－	平成30年度までに施策を実施			30		
49	シズオカ型オープンデータシステムの推進（オープンデータ活用（課題解決））	オープンデータを活用することで、社会課題や地域課題の解決を図ります。	しずおかオープンデータ推進協議会等と連携して社会課題や地域課題解決等を目的としたオープンデータ活用イベント等を開催し、オープンデータの活用した社会課題や地域課題の解決を図っていきます。	◎ アイデアコンテストの開催	△ 関係機関等と調査研究	△ 関係機関等と調査研究	△ 関係機関等と調査研究	ＩＣＴ推進課	2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進	27	◎	オープンデータ専用のカタログサイトを構築し、平成27年10月に公開しました。 カタログサイトには300種類以上のデータセットを登録し、画像データ等ニーズのあるデータを優先的に提供しています。 また、アプリコンテストを開催した結果、69件のアプリ作品を含む117作品の応募がありました。
				評価指標：　（27年度まで）オープンデータを活用したアプリ等活用件数 （28年度から）データダウンロード数（月平均）						28	○	本市主催のハッカソンを１回、内閣府との共催によるハッカソンを１回開催しました。 また、しずおかオープンデータ推進協議会が開催する「地域課題解決コンテスト」の実行委員として参画しました。
										29		
				10件	800件	800件	800件			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
再掲	道路管理統合GISの運用	道路利用者に対し、災害や工事などの通行規制情報を、グーグルマップを用いて公開するなど、様々な手段で情報提供することで、安全で快適な通行を支援します。	迅速な災害対応と安全な道路利用環境を提供するためのシステム「道路情報等提供システム」を拡充していきます。大規模災害時に、職員がタブレット端末などで収集した道路被災情報を、クラウド型の道路管理統合GISを用いた静岡市道路通行規制情報「しずみちinfo（インフォ）にて、道路利用者に情報提供します。	○ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	道路保全課	2-1-1 生活情報の発信 再掲2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	○	アンダーパス６箇所に冠水センサーを設置し、システムに冠水情報を取り込む機能を構築しました。 また、トヨタ自動車でIT関連の研究を行っている「株式会社トヨタIT開発センター」と、「クルマ」と「道」と言った密接する情報をマッシュアップさせ、新たな住民サービスを模索する業種を超えた実証実験を行い、この実証実験がｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｰﾀに関する優れた取り組みとして、ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構（ＶＬＥＤ）から最優秀賞に選出されました。 実験の成果である、APIでのリアルタイム情報公開は、今後様々なサービス開発に活用される可能性を秘めています。
										28	○	新たにアンダーパス４箇所に冠水センサーを設置し、システムに冠水情報を取り込む機能を構築しました。 また、共同実験で構築したAPIによるリアルタイムオープンデータ提供を９月に運用開始し、企業などを対象にAPI説明会を東京と静岡で開催しました。このAPIによるオープンデータ提供方式の先進性が認められ、「しずみちinfo」をモデルとして、ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構（VLED）での通行規制情報の標準化、情報処理推進機構（IPA）での共通語彙の検討化事業に参加しています。そして、この取組みがICTにおける優れた取り組みとして、ICT地域活性化大賞2016の優秀賞を受賞しました。
				評価指標：	道路上のセンサ情報導入					29		
				アンダーパス冠水監視取込　８箇所	－	アンダーパス冠水監視取組１１箇所	－			30		
50	e-ラーニングシステムを活用した職員研修の推進	多くの職員に対し、効率的に研修を実施するため、e-ラーニングシステムを活用した研修を推進します。	e-ラーニングシステムを活用した職員研修メニューを推進し、様々な研修の受講が職員の自席で可能になる環境を構築します。	→ ・サーバの運用 ・研修の実施	→ ・サーバの運用 ・研修の実施	◎ ・サーバの更改 ・研修の実施	→ ・サーバの運用 ・研修の実施	ＩＣＴ推進課	2-3-1 ICTを活用した職員研修	27	→	e-ラーニングシステムを安定して運用し、全職員を対象にしたe-ラーニング研修を７講座提供しました。
										28	→	e-ラーニングシステムを安定して運用し、全職員を対象にしたe-ラーニング研修を６講座提供しました。
				評価指標：	全職員を対象とするe-ラーニング研修の講座数					29		
				2講座以上	2講座以上	2講座以上	2講座以上			30		
再掲	情報セキュリティ研修の実施	職員の情報セキュリティ意識の向上を図り、脅威や脆弱性に対する正しい知識を身につけることを目指していきます。	新職員・非常勤職員等の階層別の研修、情報セキュリティ管理者・情報セキュリティ担当者等の役割別の研修を実施し、併せてe-ラーニングシステム「エスナビ」を用いた全職員向けの研修を実施します。	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	ＩＣＴ推進課	1-3-1 情報セキュリティポリシーの遵守 再掲2-3-2 ICTリテラシー研修	27	→	全職員を対象にしたe-ラーニング研修を１回実施したほか、階層や役割に応じた集合研修を含め、計29回6,905人に実施しました。
										28	→	全職員を対象にしたe-ラーニング研修を2回実施したほか、階層や役割に応じた集合研修を含め、計19回11,082人に実施しました。
				評価指標：	全職員を対象にしたe-ラーニング研修の実施回数					29		
				1回	1回	1回	1回			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度）				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				評価指標						年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
				27	28	29	30					
51	電子申請利用促進のための研修の実施	電子申請サービスの更なる利用促進を図ります。	市民向けに公開している電子申請サービスが、庁内向けにも活用することで、業務の効率化につなげます。また、市民や事業者の申請・届出に関する行政手続の手段であるという認識を持っていただくとともに、実機での演習を通じて操作の習熟を図ります。	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	ＩＣＴ推進課	2-3-2 ICTリテラシー研修	27	→	電子申請操作研修を利用担当者向けに実施した結果、庁内活用例10件（平成28年３月10日現在）を達成しました。
				評価指標：	活用事例数					28	→	電子申請操作研修を利用担当者向けに実施した結果、庁内活用例10件（平成29年３月11日現在）を達成しました。
										29		
				10件	10件	10件	10件			30		
52	情報化推進員研修の実施	各課における情報化の推進や情報システムやネットワークの適正な運用管理を図ります。	各課に設置している情報化推進員を対象に、情報化政策のトピック、情報システムやネットワークの運用管理等を内容として集合研修やe-ラーニング研修を実施します。	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	→ 研修の実施	ＩＣＴ推進課	2-3-3 専門研修	27	→	情報化推進員に対し、集合研修を計４回実施し、各課における情報化の推進や情報システムやネットワークの適正な運用管理を図りました。
				評価指標：	研修の実施					28	→	情報化推進員に対し、集合研修を計５回実施し、各課における情報化の推進や情報システムやネットワークの適正な運用管理を図りました。
										29		
				３回以上	３回以上	３回以上	３回以上			30		
53	外部機関によるICT専門研修	電子自治体の実現や地域の情報化等を進める上で中心的な役割を担う職員の育成を目指します。	最新の情報化の動向も取り入れた各種職務階層に対応した研修（セミナー及びe-ラーニングを含む。）のほか、ICTの利用技術の基礎から実務・応用まで専門的な研修に職員を派遣します。	→ 研修への派遣	→ 研修への派遣	→ 研修への派遣	→ 研修への派遣	ＩＣＴ推進課	2-3-3 専門研修	27	→	情報管理部門及び各課のシステム担当職員延べ17人を外部専門研修に派遣し、スキルアップを図りました。
				評価指標：	研修の受講人数					28	→	情報管理部門及び各課のシステム担当職員延べ28人を外部専門研修に派遣し、スキルアップを図りました。
										29		
				20人	20人	20人	20人			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

3　ICTによる豊かな暮らしが実感できるまちづくり

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				27	28	29	30			年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
54	静岡地域消防総合情報システムの整備・運用	静岡地域（静岡市・島田市・牧之原市・吉田町・川根本町）消防救急広域化及び消防本部庁舎移転に対応した新たな消防総合情報システムの整備・運用を行います。	119番緊急通報の受付から出動指令、災害情報管理を一括して処理する消防総合情報システムの整備・運用を行います。	△ ・システム整備 ・動作試験	◎ 運用	→ 継続運用	→ 継続運用	指令課	3-1-1 防災・防犯への対応	27	◎	静岡地域消防救急広域化に対応した消防総合情報システムの整備が完了しました。
				評価指標：　H27 整備工事進捗率・H28～重障害発生件数						28	→	継続運用し安定稼働しています。
										29		
				100%	0件	0件	0件			30		
55	消防活動支援情報のICT化促進	大規模災害発生時に静岡市に応援出動する緊急消防援助隊に対し、被災状況や道路及び水利状況等のデジタル化した消防活動支援情報を早期に提供し、迅速で効率的な消防活動により、大規模災害に因る被害の軽減を図ります。	静岡市道路通行規制情報「しずみちinfo（インフォ）」を活用し、災害応援の部隊が必要な情報等（①被害状況、②道路状況、③消防水利状況、④現場活動隊状況、⑤燃料補給場所、⑥宿営場所）を提供出来るようにします。	△ システム構築の完了	◎ システム運用開始	→ 継続運用	→ 継続運用	警防課	3-1-1 防災・防犯への対応	27	△	次年度からの運用開始に向け、システム構築中です。
				評価指標：　災害対応等の活動に支障となる故障等の発生件数						28	◎	システムが構築され、職員にシステムの概要及び取扱い説明会を実施。データの更新及び追加を業者に依頼しました。
										29		
				0件	0件	0件	0件			30		
56	防災情報のＩＣＴ化促進	発災が危惧される南海トラフ巨大地震等に備えるため、ＩＣＴ技術を活用し、通常時から提供している行政情報のうち、災害時に重要な情報を一元化して提供することにより、市民自身による避難行動をより安全で確実なものとします。	①　静岡市道路通行規制情報「しずみちinfo(インフォ)」に、静岡市防災情報マップの避難場所等の防災情報を登載することにより、市民向けの情報発信システムを構築します。 ②　災害時の情報を収集し、的確な判断と行動が行えるような災害情報共有システムの構築を目指します。	○ ①②システムの検討	◎ ①システム運用開始 ②システム導入・運用開始	→ ①②継続運用	→ ①②継続運用	危機管理総室	3-1-1 防災・防犯への対応	27	◎	システム委託業者と契約し、業務を実施しました。
				評価指標：　－						28	→	継続運用しました。
										29		
				①システム運用開始 ②システム導入・運用開始	－	－	－			30		
57	防災情報メール配信システム	市から市民へ情報を発信するための一つの手段として、電子メールを活用し防災情報等を配信することによって、災害による被害を未然に防ぐ、または被害の軽減を図ります。	配信する情報は「地震関連情報」・「気象関連情報」・「その他の情報」の３つで、登録者は登録時にこの3つのうち受信を希望する情報を選択し、登録を行います。大規模災害時等、受信者は情報を見直して確認ができるため、確実性の高い情報を配信できます。	→ ・登録者数及びコンテンツの拡充 ・配信機能の強化	→ ・登録者数及びコンテンツの拡充 ・配信機能の強化	→ ・登録者数及びコンテンツの拡充 ・配信機能の強化	→ ・登録者数及びコンテンツの拡充 ・配信機能の強化	危機管理総室	3-1-1 防災・防犯への対応	27	→	ＩＣＴ推進課主催のシニア向けスマートフォン教室にて当システムのチラシを配布しました。
				評価指標：　登録者数						28	→	出前講座や市外転入者の転入手続き時に当システムのチラシを配布しました。
										29		
				－	－	－	42,000人			30		

スケジュール及び進捗項目　　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
58	公共情報コモンズ（Ｌアラート）の活用	市から市民へ情報を発信するための一つの手段として、静岡県のシステムを利用し、視認性の高いテレビを活用して情報を配信することによって、災害による被害の軽減を図り、視認性に優れる確実な情報を配信します。	静岡県から配備されているシステムへ「被害情報」・「避難情報」・「避難所情報」等を入力すると、地上デジタル放送のデータ放送へ送信され、表示されます。	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	危機管理総室	3-1-1 防災・防犯への対応	27	→	継続運用しました。
				評価指標：－						28	→	継続運用しました。
										29		
				－	－	－	－			30		
59	保有映像情報の有効活用	消防局が保有する映像情報（高所監視カメラ・ヘリコプターテレビ等）と道路部が保有する映像情報（道路監視カメラ等）を、相互に提供可能とすることで迅速かつ的確な災害対応を可能とします。	環境整備に係る調整及び技術検証作業やシステム改修を行い、映像情報の相互情報提供が可能な環境を構築します。	△ ・映像システム機器改修調整	◎ 運用	→ 継続運用	→ 継続運用	指令課	3-1-1 防災・防犯への対応	27	◎	映像システムの改修を行い、消防局、総務局、建設局及び上下水道局間での保有映像の相互提供が可能となりました。
				評価指標：保有映像情報の提供箇所						28	→	継続運用しています。
										29		
				1箇所	3箇所	3箇所	3箇所			30		
60	不審者情報等メールの配信	学校だけでなく、一般市民や警察署からの被害情報や危険に係わる情報を、メール登録者にいち早く知らせることで、適切かつ迅速な対応ができるようにします。	メール配信システムへのアドレス登録者に対して、学校や一般市民、警察署などから提供された不審者等の情報を配信します。	◎ 不審者情報等の収集および配信	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	学校教育課	3-1-1 防災・防犯への対応	27	◎	登録者に対して、不審者等の情報を発信しました。
				評価指標：危険性があると判断した情報の配信						28	◎	登録者に対して、不審者等の情報を発信しました。
										29		
				100%	100%	100%	100%			30		
61	応急手当普及啓発活動の促進	市民に普通救命講習を受講してもらうことにより、救命環境の向上を図ります。 ある一定の普通救命講習に対し、eラーニングの事前講習を行うことで受講時間の短縮ができ、市民の負担軽減並びに、受講しやすい環境を作ります。	応急手当講習は会場を設けて、消防職員・消防職員OB指導員、普及員が講師となり講習を実施しているところ、静岡市ＨＰに受講カリキュラムの内容（座学・テスト有）アップロードし、事前学習（ｅ－ラーニング）を行ってもらうことで、１時間の講習の短縮を図ります。	○ ・普通救命講習の実施 ・学校での受講体制構築 ・関係者への説明・協力依頼 ・事前学習eラーニングの整備 ・eラーニングの市民への広報 ・要綱・指針の改正	◎ ・普通救命講習の実施 ・希望する学校での実施 ・関係者への協力依頼 ・eラーニングの活用 ・市民への広報	→ 継続実施	→ 継続実施	救急課	3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	○	・約13,000人に対し、各種救命講習を実施しました。 ・小中学校への受講体制構築のため、関係者へ説明を行いました。
				評価指標：検討中						28	○	・約18000人に対し、各種救命講習を実施しました。 ・静岡市内の公立小中学校約60校に対し救命講習を実施しました。 ・静岡市内全公立小中学校での実施に向け、関係者との調整を行いました。
										29		
				－	－	－	－			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
62	救命環境の高度化（ICT化の整備・活用）	救急患者の容態、バイタル、心電図などの生体情報を医療機関に伝送するシステムを構築して、迅速、的確な応急処置が行え、市民に対し救急サービスの向上を図ります。 また、救命アプリを構築し市民が活用することで、傷病者に対し、市民（バイスタンダー）・消防・医療機関が一体となり救命の連鎖を作り、救急体制を充実させます。	市民に対する救急サービス向上のため、救急患者の容態、バイタル、心電図などの生体情報を医療機関に伝送し、これまで以上に迅速、的確な救急隊の活動を可能にするシステムの導入を図ります。 また、救急体制の充実を図るため、倒れた人のそばにいた市民が行う応急手当を補助するための救命アプリの構築を検討します。	△ 既設消防本部からの情報収集	→ ・検討組織の立ち上げ ・作成についての検討 ・システムの要件、課題の洗い出し、運用ルールの検討	→ 継続実施	→ 継続実施	救急課	3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	△	東京消防庁及び全国政令指定都市の実施状況を確認しました。
				評価指標：検討中						28	△	・システムの要件、課題の洗い出し及び運用ルールの検討を行いました。 ・仙台市消防局の実施状況を視察しました。
										29		
				－	－	－	－			30		
63	認知症しずメールの配信（認知症高齢者見守り事業）	認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域のさりげない見守りと声掛けや早期からの相談、医療に繋げることができる基盤づくりをします。 また、認知症高齢者が徘徊して行方不明になった時に、関係機関等の協力により早期に発見できる体制を整えます。	在宅の認知症の人が行方不明になった場合に、「認知症しずメール配信システム」に受信登録している市民や協力機関に、担当の地域包括支援センターから電子メールで行方不明情報を配信します。 メールを受信した人は、身の回りにその情報に合致するような人がいないか気にかけてもらい、そのような人を見かけたときは、警察署へ連絡してもらいます。	◎ 継続実施	→ 継続実施	→ 継続実施	→ 継続実施	地域包括ケア推進本部	3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	◎	見守り協力者数1,618人（H28.2月末現在）になりました。
				評価指標：見守り協力者数						28	→	見守り協力者数1,767人（H29.2月末現在）になりました。
										29		
				1,400件	1650件	1,750件	1,850件			30		
64	ユニバーサルデザイン・バリアフリー情報の発信 （「ゆびぷら」の運用）	ユニバーサルデザインとバリアフリーに関する各種情報を一元的に市ホームページ「ゆびぷら」に掲載することにより、情報のバリアフリー化と市民のみなさまへの啓発を行い福祉のまちづくりを推進します。	市ホームページ「ゆびぷら」（バリアフリーマップ、子ども用学習コーナー、イベント等の紹介、福祉に関する啓発）の運用を行います。	◎ ・ホームページの運用 ・データの更新	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	福祉総務課	3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	◎	平成２７年度もホームページを円滑に運用しました。 バリアフリーマップへの掲載施設、イベント・講座の報告記事など随時更新しています。
				評価指標：新規掲載施設数						28	→	平成２８年度もホームページを円滑に運用しました。 バリアフリーマップへの掲載施設、イベント・講座の報告記事など随時更新し、オープンデータ化しました。
										29		
				増	増	増	増			30		
再掲	食の安心・安全情報の発信（「たべしずねっと」の運用）	広報活動の充実により、市民が食品の安全性の確保に関する知識と理解を深めることを目指します。	静岡市の食の安全や食育、地産地消に関する情報を発信するウェブサイト「たべしずねっと」を管理・運営します。また、食の安全や食品表示の情報、「たべしずねっと」の新着情報などを掲載したメールマガジンを発行します。	→ サイトの運営管理	→ 継続運用	→ 継続実施	→ 継続運用	食品衛生課	2-1-1 生活情報の発信 再掲３-１-２ 保健・福祉・医療への対応	27	→	「たべしずねっと」を継続的に運用しています。 平成27年度は2月までに699件のコンテンツを更新しました。
				評価指標：コンテンツの追加数						28	→	「たべしずねっと」を継続的に運用しています。 平成28年度は1月までに679件のコンテンツを更新しました。
										29		
				150	150	150	150			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
再掲	静岡市自殺対策ホームページ（「しずここネット」）の運用	静岡市自殺対策行動計画に基づき、自殺対策を推進するために、ホームページで自殺対策に関する情報を発信します。	悩んでいる本人や、その周りで支える人等に対し、自殺対策に関連した情報や相談窓口等を関連のホームページとリンクさせながら周知と普及啓発を図ります。	◎ 自殺対策に関する情報を発信	→ 継続実施	→ 継続実施	→ 継続実施	精神保健福祉課	2-1-1 生活情報の発信 再掲3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	◎	ホームページの改修を行い、相談窓口の検索機能を追加する等、速やかな情報提供を図りました。アクセス件数は、１か月あたり約4,400件でした。
				評価指標：	ホームページへのアクセス件数					28	→	ホームページを活用したマンガ募集事業の投票を行い、本市ホームページへのアクセスを促しました。３月の強化月間に合わせ電子書籍を配信し、アクセスの増加が見込まれるため、年間アクセス数は、4000件程度となる見込みです。
										29		
				3,800件/月	3,900件/月	3,900件/月	3,900件/月			30		
再掲	子育て情報の発信（「ちゃむしずおか」の運営）	妊娠・出産期から子育て期までの子育てに関する情報を幅広く提供し、市民の利便性の向上を図ります。	子育てに関する行政情報や制度案内をはじめ、サークル紹介、イベント情報などを総合的に掲載したウェブサイトを管理運営します。携帯やスマートフォンにも対応するほか、SNSを活用した情報発信を行います。	→ 子育て情報の発信	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	子ども未来課	2-1-1 生活情報の発信 再掲3-1-2 保健・福祉・医療への対応	27	→	制度案内や子育てに関する講座・イベント情報の発信を随時行っています。また、twitter・Facebookを開設し、定期的な投稿をしています。トップページアクセス数は月平均6,500件程度です。
				評価指標：	トップページアクセス件数／月					28	→	Twitter、Facebookと連動し、子育てに関わる各種事業及び講座・イベント情報の発信を行いました。トップページのアクセス数は月平均4,700件程度です。また、子育てしやすい街をＰＲする動画を作成し、市外に向けての情報発信も行いました。
										29		
				11,000件	12,000件	13,000件	14,000件			30		
65	大気汚染常時監視テレメータシステム	静岡市内13か所で、大気汚染防止法により定められた光化学オキシダントなどの大気汚染の常時監視を行っており、各測定局から電話回線により機器の状態や測定値を常時収集し、機器の故障や高濃度時の対応、測定値の監視・処理をするシステムです。	大気汚染防止法に基づき、静岡市内13か所に大気汚染測定局を設置し、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、オキシダントなどの濃度を常時監視しています。この測定結果は速報値として毎時間、静岡県の常時監視システムに送信され、市・県・環境省のWebサイトで24時間大気汚染の状況が確認できます。	→ リース継続	→ 再リース契約（2年間）	→ リース継続	→ 再リース契約（2年間）	環境保全課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	→	静岡市内１３か所にある測定局の維持管理を適切に行い、光化学オキシダントなどの濃度をWebサイトで情報発信しました。
				評価指標：	－					28	→	再リース契約（１年間）を締結しました。また、引き続き静岡市内１３か所にある測定局の維持管理を適切に行い、光化学オキシダントなどの濃度をWebサイトで情報発信しました。
										29		
				－	－	－	－			30		
66	静岡市立小・中学校校務支援システムの構築 ※施策名「静岡市教育クラウドの構築」から変更	小・中学校に係わる情報を安全で有効に活用・共有できる環境を構築することで、児童・生徒の情報や優れた実践等の教育に係わる情報資産を安全に共有すると共に、業務の効率化を果たし、教育の質の向上を図ります。	・校務支援システムの構築 （センターサーバーを基盤とした学校間ネットワークの構築、データ共有・業務の効率化を図る校務支援システムの構築） ・校務支援システム運用に係わる研修実施 ・校務支援システムの維持・運用に係わる組織および人員配置 ◎各課報告・連絡業務の簡便化およびデータの安全管理 ◎成績処理、出欠管理などの校務の標準化、省力化 ◎文書送達業務、電話対応業務・印刷コストの削減 ◎研修・連絡協議会等の学外業務削減 （◎被災時の避難所間の情報共有実現）	△ ・他自治体への調査 ・機能、およびネットワーク、セキュリティ要件の検討 ・仕様書の作成	→ ・仕様書等調達関係資料の作成 ・プロポーザル入札、業者決定	○ ・運用試験 開始 ・職員向け調査の実施	◎ ・全校導入、ｼｽﾃﾑ運用開始 ・職員研修の実施	学校教育課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	△	局内のプロジェクトチームで導入に向けた検討を実施しました。
				評価指標：	年間校務処理時間100時間の削減					28	○	調達関係書類を作成しました。
										29		
					削減項目の検討		モデル校において70時間／年削減			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度）				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				評価指標						年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
				27	28	29	30					
67	不燃・粗大ごみ受付業務	戸別収集を行っている不燃・粗大ごみのお申し込みを電話、インターネット等で受付します。不燃・粗大ごみ受付センターと各収集センターをオンラインで結ぶことにより、受付（新規・変更・取消）から収集業務までを円滑に実施します。	電話、インターネット等で不燃・粗大ごみの申し込みを受付後、申込者情報をシステムに登録します。各収集センターは登録された情報をもとに収集ルート図の作成を行います。	△ システム改修検討	◎ H29.1運用開始予定	→ 継続運用	→ 継続運用	収集業務課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	△	各収集センター等から、新システム構築に関する要望等の聴取を実施しました。 また課としての新システムの方向性について検討中です。
										28	△	当初は、現在使用しているシステムをバージョンアップする予定でしたが、現行システムの開発業者の事業撤退により、新システムの構築が必要となりました。他都市への調査結果等を踏まえ、平成30年度からはシステム構築、機器調達、保守、受付業務を受付センター運営経費として全て一括契約することとし、予算要求を行いました。（平成29年度に業者選定契約を行う予定です。）
				評価指標：	申込件数					29		
				240,960 （H25実績）	240,960 （H25実績）	240,960 （H25実績）	240,960 （H25実績）			30		
68	地球温暖化対策情報の発信（「つなごうしずおか」の運用）	本市では、本市の自然的・社会的条件に応じた静岡市地球温暖化対策実行計画を策定し、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を理解し、市全体で温室効果ガスを削減していくことを目指しています。 その一環として地球温暖化対策情報サイト「つなごうしずおか」による情報発信を行います。	当サイトでは、地球温暖化対策や市の取組の紹介、エコライフチェック、イベント等の情報発信を行っています。 平成27年度で、現在の静岡市地球温暖化対策実行計画が終了となるため、計画の改定（平成28年度～34年度）を行い、それに併せてサイトをリニューアルし、引き続き情報発信を行います。	◎ ・計画改定に伴うサイトリニューアル ・サイト運用	→ サイト運用	→ サイト運用	→ サイト運用	環境創造課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	→	3月末までに、サイトリニューアル完了しました。 ページビュー件数は、22,965件（H27.4～H28.3）です。(69番との合計) 新着情報は、51件です。（H27.4～H28.3）
										28	→	ページビュー件数は、25,445件（H28.4～H29.2末）です。(69番との合計) 新着情報は、44件です。（H28.4～H29.2末）
				評価指標：	ページビュー件数／年					29		
				10,000件	10,000件	10,000件	10,000件			30		
69	自然環境情報発信事業	静岡市の自然環境に関するイベントや事業等を、広く市民の方々に周知します。 また、市民の方々が発見した植物や動物などを投稿していただきます。	生きもの発見情報を、航空写真を利用したマップによりインターネット上で公開し、広く市民へ情報発信すると共に、市民からの情報提供を取り込み、静岡市の自然環境状況を市民と共有します。 また、市民団体等が行う環境学習やイベントなどの情報を集約・配信することで、市民団体等の活動を広報します。	→ 静岡市イベント情報配信	→ 継続配信	→ 継続配信	→ 継続配信	環境創造課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	→	ページビュー件数は、50,902件（H27.7～H28.2末）です。(68番との合計) 投稿記事件数は、59件です。（H27.4～H28.2）
										28	→	ページビュー件数は、25,445件（H28.4～H29.2末）です。(68番との合計) 投稿記事件数は、43件です。（H28.4～H29.2末）
				評価指標：	ページビュー件数／年					29		
				年間PV 50,000	年間PV 50,000	未定	未定			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
H27 新規	静岡市MORIガールプロジェクト企画運営業務	南アルプス・井川地域の魅力や価値を、主に20～30代の女性をターゲットに多くの皆さんに知っていただき、訪れてもらえるよう、ホームページを通して情報発信を行います。	若い女性に関心を持ってもらえるよう、体験レポート、動画などを通して南アルプス・井川地域の魅力を伝えます。具体的には、女性モデルが井川で体験したレポートや、井川地域に住む幅広い分野で活躍している人々に取材を行った内容を掲載しています。	◎ サイト公開 イベント情報等の更新	→ 継続配信	→ 継続配信	→ 継続配信	環境創造課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	→	平成27年７月にサイト公開し、ページビュー件数は、63,601件（H27.7～H28.3末）です。 配信内容は、「里山の人々」を年に10回以上情報更新、「女子旅レポート」を年に６回更新とNEWS-PICHUP（お知らせ）を随時更新しております。
				評価指標：	ページビュー数／年					28	→	ページビュー件数81,987件（H28.4～H29.1末）です。 「女子旅レポート」の追加配信、南アルプス空撮映像の配信、催事情報の配信等を行い、地域の魅力情報を定期的に更新しています。
										29		
				年間PV 50,000	年間PV 50,000	年間PV 50,000	年間PV 50,000			30		
70	上下水道局庁舎災害対策本部室映像システムの設置	施設、水質、管路情報、その他危機管理上必要な情報等を一元的に集約できる体制を整え、危機管理機能を強化します。	現在３か所に分散している施設情報や、水質情報、水道管路情報、その他危機管理上必要な情報等を集約し、市全体における水道施設の運転状況等が即時に把握できる施設を上下水道局庁舎へ設置します。	◎ ・災害対策本部室映像システムの設置 ・災害対策本部室映像システム増設機能の調査・検討	→ ・災害対策本部室映像システム増設機能の調査・検討	→ ・災害対策本部室映像システム増設機能の調査・検討	→ ・災害対策本部室映像システム増設機能の調査・検討	水道企画課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	◎	「（仮称）上下水道情報センター」の名称を「災害対策本部室」へ決定しました。 災害対策本部室映像システムの設置が完了し、施設・水質・管路情報を集約し一度に把握できるようになりました。 また増設機能として、他部局との連携を図り、総務局、道路部、消防局、国などの映像情報も把握できるようになりました。 災害対策本部室では、事故や震災などの発生時、これらの集約された情報をもとに迅速・的確な対応で早期の復旧に努めます。
				評価指標：	－					28	→	災害対策本部室の追加システムの検討を行いました。 また、災害対策本部室を利用した防災訓練の実施等を行いました。
										29		
				－	－	－	－			30		
71	普通教室用ICT環境の充実	普通教室で日常的に使用できるICT環境の整備を充実させることで、授業でのICT活用を促進し、児童・生徒の内容理解、学力の向上を図ります。 アナログ（紙やチョーク）だけでは実施できない、ICT環境のメリットを多くの授業で生かし、協働学習や迅速な資料提示などを活用した授業を実施し、児童・生徒の思考力・判断力・表現力を育成します。	現在、PC教室に整備されている環境に、電子黒板やハイブリッドPC（タブレットとしても活用可）を追加配置し、普通教室で日常的に授業で活用できるICT環境整備を進めます また、ICT支援員や事業者などの協力による実践的な活用研修を実施します。	△ 中学校仕様の検討	○ 中学校43校リース更新	→ 既存環境の活用研修（職員向け）の実施	→ 小学校47校リース更新	学校教育課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	△	次年度の中学校PC教室更新に向けた仕様を検討しました。
				評価指標：	学校ＩＣＴ環境を用いた授業の実施率					28	○	中学校更新において、タブレット端末を採用し、普通教室利用における利便性を向上させました。
										29		
				70%以上	75%以上	80%以上	85%以上			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
72	返還免除機能が追加された奨学金システム	優秀な人材を育英するとともに、市の発展に資する優秀な人材を育成・確保します。	平成２７年4月から新たに貸付を受ける者に対し、卒業後市内に居住する等の条件を満たした場合、奨学金の一部を返還免除します。	◎ 貸付	→ 貸付	→ ・貸付 ・短大生の返還猶予	→ ・貸付 ・短大生の返還猶予	学事課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	◎	新規貸付を２０件実施しました。
				評価指標：	貸付件数・返還猶予件数					28	◎	制度の再検討を実施し、新規貸付を２０件実施しました。
										29		
				新規貸付２０件	新規貸付２０件	・新規貸付２０件 ・返還猶予５件	・新規貸付２０件 ・返還猶予５件			30		
73	就学援助システムの開発	経済的に困難な児童・生徒のいる世帯に対して、学校給食費・学用品費・修学旅行費等の援助を行います。	平成２９年４月からの稼働により、迅速に正確な事務処理を実施します。	△ 先進地調査	△ 仕様書作成	○ 業者選定・契約	◎ 運用開始	学事課	3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	△	導入に向けての検討を行いましたが、大幅な制度改正を伴わないとシステム改修の効果が得られないため、制度の再検討を実施することとしました。
				評価指標：	平成30年度からの運用開始					28		
										29		
				順調な準備	順調な準備	・順調な準備 ・テスト運用	迅速で正確な処理			30		
再掲	道路管理統合GISの運用	道路利用者に対し、災害や工事などの通行規制情報を、グーグルマップを用いて公開するなど、様々な手段で情報提供することで、安全で快適な通行を支援します。	迅速な災害対応と安全な道路利用環境を提供するためのシステム「道路情報等提供システム」を拡充していきます。大規模災害時に、職員がタブレット端末などで収集した道路被災情報を、クラウド型の道路管理統合GISを用いた静岡市道路通行規制情報「しずみちinfo（インフォ）にて、道路利用者に情報提供します。	○ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	△ システムの機能拡充	道路保全課	2-1-1 生活情報の発信 再掲2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	○	アンダーパス６箇所に冠水センサーを設置し、システムに冠水情報を取り込む機能を構築しました。 また、トヨタ自動車でIT関連の研究を行っている「株式会社トヨタIT開発センター」と、「クルマ」と「道」と言った密接する情報をマッシュアップさせ、新たな住民サービスを模索する業種を超えた実証実験を行い、この実証実験がｵｰﾌﾟﾝﾃﾞｰﾀに関する優れた取り組みとして、ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構（ＶＬＥＤ）から最優秀賞に選出されました。実験の成果である、APIでのリアルタイム情報公開は、今後様々なサービス開発に活用される可能性を秘めています。
				評価指標：	道路上のセンサ情報導入					28	○	新たにアンダーパス４箇所に冠水センサーを設置し、システムに冠水情報を取り込む機能を構築しました。 また、共同実験で構築したAPIによるリアルタイムオープンデータ提供を９月に運用開始し、企業などを対象にAPI説明会を東京と静岡で開催しました。このAPIによるオープンデータ提供方式の先進性が認められ、「しずみちinfo」をモデルとして、ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構（VLED）での通行規制情報の標準化、情報処理推進機構(IPA）での共通語彙の検討化事業に参加しています。そして、この取組みがICTにおける優れた取り組みとして、ICT地域活性化大賞2016の優秀賞を受賞しました。
										29		
				アンダーパス冠水監視取込　８箇所	－	アンダーパス冠水監視取組１１箇所	－			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				27	28	29	30			年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
再掲	静岡市立小中学校校務用パソコン整備業務（更新）	学校における児童生徒の成績管理、名簿管理、出欠管理をはじめとする校務書類の作成が円滑に行えるように、パソコンを整備します。	学校における児童生徒の成績管理、名簿管理、出欠管理をはじめとする校務書類の作成のためのパソコンを更新します。	△ 導入計画を作成	◎ 導入（更新）	→ 継続運用	→ 継続運用	教育施設課	1-2-2 システムの最適化 再掲3-1-3 環境・教育・交通への対応	27	△	静岡市教育クラウドの構築で検討中の校務支援システムの導入に合わせて校務用パソコンも整備していくため、単独での整備は無くなりました。
										28		
				評価指標：	平成28年度の導入（更新）					29		
				―	導入（更新）	―	―			30		
74	シズオカ型オープンデータシステムの推進（オープンデータ活用（産業・教育））	本市が提供するオープンデータを活用した新たなサービスの創出やICT教育への展開を図ります。	オープンデータを活用した新たなサービスの創出等ビジネスへの展開について、関係団体と調査研究を行います。また、オープンデータを活用したICT教育等について、高校や大学等の地元教育機関と連携をします。	◎ アイデアコンテストの開催	△ 関係機関等と調査研究	△ 関係機関等と調査研究	△ 関係機関等と調査研究	ＩＣＴ推進課	3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	◎	オープンデータ専用のカタログサイトを構築し、平成27年10月に公開しました。 カタログサイトには300種類以上のデータセットを登録し、画像データ等ニーズのあるデータを優先的に提供しています。 また、アプリコンテストを開催した結果、69件のアプリ作品を含む117作品（これまでの自治体主催コンテストでは最多）の応募がありました。
										28	△	ＶＬＥＤ（（一社）ｵｰﾌﾟﾝ&ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ活用・地方創生推進機構）に参画し、民間企業が提供するサービスへのオープンデータ活用について検討を行いました。
				評価指標：	（27年度まで）オープンデータを活用したアプリ等活用件数 （28年度から）データダウンロード数（月平均）					29		
				10件	800件	800件	800件			30		
75	産学との連携	地元情報通信関連事業者や地元大学等と産学連携をし、ICTを活用した事業の協働推進と地域活性化を図ります。	地元情報通信関連事業者等で構成されるNPO法人静岡情報産業協会等とICTを活用した事業の推進の連携をします。また、静岡県立大学等の教育機関と情報共有や共同研究推進のための連携をします。	→ 地元情報通信関連事業者や地元大学等と協議・調整	→ 地元情報通信関連事業者や地元大学等と協議・調整	→ 地元情報通信関連事業者や地元大学等と協議・調整	→ 地元情報通信関連事業者や地元大学等と協議・調整	ＩＣＴ推進課	3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	→	ＮＰＯ法人静岡情報産業協会事業企画委員会に出席し、市内関連事業者とＩＣＴを活用した事業の推進の検討を行いました。（７回会議開催） 静岡県立大学の総務省ＳＣＯＰＥ事業の共同研究者として、当該事業の推進を図りました。（２回会議開催）
										28	→	ＮＰＯ法人静岡情報産業協会WGに出席し、市内関連事業者とＩＣＴを活用した事業の推進の検討を行いました。（１回） 静岡県立大学と会合を行い、情報化推進について意見交換を行いました。（２回）
				評価指標：	関係機関との協議回数					29		
				３回以上	３回以上	３回以上	３回以上			30		
76	文化・クリエイティブ産業の振興（H27年度まで） しずおかコンテンツバレー構想の推進	クリエーター支援を通じた文化・クリエイティブ産業の活性化による新産業の創出などを図ります。	クリエーター支援として、クリエーター事業者とのマッチングや見本市等への出展などを行います。	◎ クリエーター支援センターの移転準備	→ クリエーター支援センターの移転・整備	→ 未定	→ 未定	産業政策課	3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	○	クリエーター支援センターの管理運営やしずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム（ＳＣＶ）に対して、補助を実施し、コンテンツバレー構想の推進を図りました。
										28	○	クリエーターHUBの創設やクリエイティブ相談の実施による新商品開発などを行いました。
				評価指標：	マッチング件数 （H27年度まで　「施設来館者数」）					29		
				10,000	5件	5件	5件			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
77	市産材活用プロモーション事業	市産材の生産・流通・利用に関わる事業者と静岡市が連携し、市産材の認知度アップやブランド化、消費者ニーズの把握を図るほか、森林の公益的機能の啓発などを行うことで一般市民に対し、市産材の活用や理解の促進を図り、市産材の需要拡大を通して林業の活性化を図ります。	ウェブサイトやイベント等を通し、一般消費者に対し、市産材活用を促進するプロモーションを行います。	◎ ウェブサイト「ききしず」による情報発信	→ 継続発信	→ 継続発信	→ 継続発信	中山間地振興課	3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	◎	ウェブサイトを継続運営し、facebook等も活用し積極的に情報発信を行いました。
				評価指標：	ウェブサイトの維持継続					28	→	ウェブサイトを継続運営し、facebook等も活用し積極的に情報発信を行いました。
										29		
				維持継続	維持継続	維持継続	維持継続			30		
78	企業情報・採用情報の発信（「しずまっち」の運用）	地域企業の企業情報・採用情報を集約し、学生・若者に向けて発信することで、地元就職、Uターン就職の促進を図ります。	採用意欲ある地域企業の企業情報・採用情報を掲載するサイトの運用を行います。 業種･職種･勤務地や会社の特長、仕事内容、独自の取組（ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ･育児支援等）など多彩な項目からの絞り込み検索により、ニーズに応じて企業を探すことができます。 また、登録者にイベント情報等メルマガ配信を行います。	→ ・企業情報の登録･更新 ・メルマガ登録受付	→ 継続	→ 継続	→ 継続	商業労政課	3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	○	・企業登録…新規申込50社以上に対応しました。 ・企業情報更新…承認申請のべ50回以上に対応しました。 ・メールによる情報配信（企業向け・学生向け）を各10回以上実施しました。
				評価指標：	情報鮮度の維持					28	→	・企業登録及び企業情報更新を延べ50件以上対応しました。 ・メール情報配信（企業・学生）を各10回以上実施しました。
										29		
				登録企業等の追加･更新を随時行い、情報の鮮度を保つ						30		
H27 新規 再掲	駿河区情報発信サイト「スルマガ」の運用	駿河区では、女性・若者などをメインターゲットに、市ホームページなど既存の媒体に加え、民間のSNSなどを活用して情報発信力を向上します。	地域ポータルサイト「まちぽ」の中に、駿河区特集ページ「スルマガ」を作成し、行政情報と民間情報の連携による情報提供を行います。	◎ ・サイト構築 ・公開	→ 運用	→ 運用	→ 運用	駿河区地域総務課	主　2-1-1 生活情報の発信 再掲3-2-1 地元情報関連産業等との連携	27	◎	サイトを構築し、公開しました。
				評価指標：	アクセス数（年間）					28	→	駿河区の様々な官民情報を一年間随時発信しました。平成29年１月末現在、アクセス数50,000ＰＶ以上を達成することができました。
										29		
				公開	50,000PV	60,000PV	70,000PV			30		
79	静岡市公衆無線LAN整備事業の推進	誰でも高速なインターネットに接続できる環境を整備することにより、観光とMICEの推進による地域の活性化・市民の利便性の向上・災害対応を図ります。	静岡市公衆無線LAN事業協議会により、官民連携して公衆無線LANを整備し、活用し、利用を促進します。 また、本市周辺の地方公共団体に働きかけを行い、本事業の広域化を図ります。	→ アクセスポイントの整備促進	→ アクセスポイントの整備促進	→ アクセスポイントの整備促進	→ アクセスポイントの整備促進	ＩＣＴ推進課	3-2-2 集客情報の受発信強化 再掲3-3-1 デジタル・ディバイドの解消 再掲3-3-3 最新技術の生活への活用	27	→	公衆無線LANアクセスポイントの設置数が300箇所を超え、当初目標を前倒しで達成しました。
				評価指標：	アクセスポイント数					28	→	公衆無線LANアクセスポイントの設置数が370箇所を超え、当初目標を達成しました。
										29		
				230AP	270AP	290AP	300AP			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度）				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				評価指標						年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
				27	28	29	30					
80	静岡市公式観光ウェブサイトの運用・更新	静岡市の観光魅力やイベント、宿泊に関する充実した情報を広くインターネット利用者に向けて発信します。	平成26年度にリニューアルする静岡市公式の観光ウェブサイト（（公財）静岡観光コンベンション協会運営）の運用にあたり、提供する情報の質を高め、量を増やしていくため、コンテンツの充実、多言語化、アクセシビリティ向上等に係る更新を行います。 また、併せてウェブサイトの閲覧者を増加させるためのＰＲを他のプロモーション事業と連動して行います。	◎ ・構築 ・運用開始	→ 継続	→ 継続	→ 継続	観光交流課	3-2-2 集客情報の受発信強化	27	◎	平成26年度にリニューアルを行い、平成27年５月より一般公開を開始するとともに、サイト訪問数の増加と情報の質の向上のため、口コミサイトや宿泊サイトとの提携を行いました。
				評価指標：	サイト訪問数（年間延べ人数）					28	◎	ウェブサイトの多言語（英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語）表記に、新たにタイ語を追加しました。
										29		
				120万人	150万人	170万人	190万人			30		
81	静岡市の文化財情報の発信	静岡市の文化財に関する情報を広く発信します。	徳川家康や今川氏、東海道、三保松原のほか、歴史さんぽやデジタル企画展、こども向けページなど、さまざまなコンテンツを用意して、ホームページからの静岡市の文化財に関する情報提供を行います。	→	→	→	→	歴史文化課 文化財課	3-2-2 集客情報の受発信強化	27	◎	文化財情報発信サイト「静岡市の文化財」にて、文化施設や文化財の紹介、イベント・講演会等の情報発信を積極的に行いました。 当サイトの平成27年度のアクセス数は、37,579件（平成28年３月４日現在）と目標を大きく上回りました。
				継続	継続	継続	継続			28	→	文化財情報発信サイト「静岡市の文化財」にて、文化施設や文化財の紹介、イベント・講演会等の情報発信を積極的に行いました。 当サイトの平成28年度のアクセス数は、53,476件（平成29年３月3日現在）と目標を大きく上回りました。
				評価指標：	アクセス数（年間）					29		
				12,000/年	13,000/年	14,000/年	15,000/年			30		
82	静岡市まちなか情報コミュニケーション推進事業	中心市街地活性化基本計画の目的である「都市空間の質的改善」、「集客・交流機能の魅力向上」及び「ユニバーサル社会の実現」によるまちなかかの回遊性の向上を図ります。	静岡地区の中心市街地に設置しているタッチパネル式端末を用い、来街者に対して、商店街の情報、地図情報、観光情報、災害・防災情報及び市広報等の情報を提供します。	→	△	―	―	商業労政課	3-2-2 集客情報の受発信強化	27	○	・情報提供枠使用数　年間１３件を達成しました。 ・店舗・地図情報１ヶ月に１回更新しました。
				情報の追加・更新・コンテンツの拡充	撤去も視野に入れ検討	－	－			28	△	機器の老朽化による故障多発及び交換部品の生産終了による修理不能により、平成29年度に撤去することになりました。
				評価指標：	【継続的な情報発信】					29		
				情報の追加・更新を行い、コンテンツの充実	－	－	－			30		
83	静岡市産お茶情報の発信（「お茶のまち静岡市」の運用	市内外の方が「お茶のまち静岡市」を知り、訪れてみたいと感じられる情報を分かりやすく集約したホームページを整備することにより、市内外・全国・世界に向けた情報発信・認知度向上を推進します。	茶産地・茶商・歴史など本市茶産業に関する情報を始め、「お茶カフェ」「お茶スイーツ」など消費者に身近な茶関連情報を集約したホームページを制作・運用します。	◎ 既存ホームページの改修、運用	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	農業政策課	3-2-2 集客情報の受発信強化	27	○	既存ホームページの改修をH27年度内で完了しました。今年度アクセス数は9,000件で未達成です。
				評価指標：	「お茶のまち静岡市」ホームページアクセス数（年間）					28	◎	ホームページリニューアルと合わせて新規にfacebookを開設し、積極的に情報発信をしています。今年度アクセス数は、1月時点で23,182件となり、目標を達成しました。
										29		
				12,000件	14,400件	16,800件	19,200件			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				27	28	29	30			年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
84	静岡市産農産物情報の発信 （「ZRATTO！しずおか」の運用）	地産地消を起点に本市の農産物を市内外にＰＲし、消費者が旬の時期に地場農産物を食する機会を増やすことにより、消費の拡大、農業経営の向上と安定を図ります。	本市の農産物の紹介や購入場所がわかる地産地消マップ、農産物のレシピなどをホームページに掲載し、旬な農産物やイベントなどの情報を消費者へ発信します。	◎ ホームページの運用	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	農業政策課	3-2-2 集客情報の受発信強化	27	◎	ホームページの運用を開始し、７０件超の直売所・観光農園を掲載しました。ニュースを週２回以上更新し、旬の農水産物の情報を積極的に発信しています。ホームページを介したリンク先のアクセス数は、目標値を超える見込みです。
				評価指標： ホームページを介したリンク先へのアクセス数（年間）						28	◎	ニュースの更新を継続し、ホームページを介したリンク先の年間アクセス数は、4,200件と目標を大きく上回る見込みです。
										29		
				2,000件	2,400件	2,800件	3,200件			30		
85	清水区ＳＮＳ活用事業	清水区の魅力に関する情報発信を区民との協働による新しい手法で実施し、区民の交流を促進するとともにより効果的な情報提供を行います。	区民との協働によるＳＮＳ（Facebookページ・Twitter等）を活用した情報発信を実施しているところです。 「清水区Facebookページ」については、「しみず魅力発信サポーター」（区民、事業者、団体等）との協働による情報発信を実施しており、平成２６年度は１０チームとの協働事業を実施中です。その他ＳＮＳの活用については、平成２７年度以降の実施を検討しています。	◎ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	→ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	→ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	→ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	清水区地域総務課	3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進 再掲3-3-2 地域情報の受発信の強化	27	◎	平成２７年度中に「清水区Facebookページ」の協働先（チーム）を２団体増やしたほか、平成27年12月には「清水区広報キャラクターシズラ」の公式Twitterを開設し、幅広い年齢層へ情報発信を可能としました。
				評価指標： 「SNS」ファン数／協働先の数						28	→	平成２８年度中には「清水区Facebookページ」の協働先（チーム）を増やして２１団体としました。また、「清水区Facebookページ」と「シズラ」公式Twitterの運用を強化し、SNSのファン数拡大を図りました。
										29		
				1200件／11団体	2400件／12団体	4700件／22団体	5000件／23団体			30		
再掲	公衆無線LANポータルサイト 「Shizupass」関係事業	官民連携の協議会（静岡市、静岡商工会議所、静岡市まちづくり公社、静岡観光コンベンション協会、ＮＰＯ法人静岡情報産業協会）で実施している公衆無線ＬＡＮ事業の一つで、地域活性化や市民等の利便性向上、観光施策の推進及び災害対応力の向上を図ります。	無料Wi-Fiスポット接続時に表示する公衆無線ＬＡＮポータルサイト「「ShizuPass」の運用管理を実施します。 また、ポータルサイトを活用することにより、地域活性化や市民等の利便性向上、観光施策の推進及び災害対応力の向上を図ります。 このため、月１回定例会を開き、ポータルサイトの更なる充実を図るとともに、G空間シティ構築事業と連携させることにより、災害時にも対応したポータルサイトを構築します。	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	→ ・ポータルサイトの充実 ・ポータルサイトの周知啓発	ＩＣＴ推進課	2-2-2 情報提供手段の多様化 再掲3-2-2 集客情報の受発信強化	27	→	毎月打ち合わせを実施し、イベント情報の掲載、特集等を掲載し、月平均10,000アクセス達成しました。
				評価指標： アクセス数						28	→	イベント情報や特集等の掲載コンテンツを充実させることにより、月平均16,000アクセス以上を達成しました。 また、国が実施する訪日外国人向け広報活動事業と連携し、広報周知を図りました。
										29		
				10,000アクセス/月	10,000アクセス/月	10,000アクセス/月	10,000アクセス/月			30		
再掲	ガバメント2.0の検討	ICTを利活用し、市民が公共サービスや政策の決定に積極的に参画することで、効率的な行政の実現を目指します。	先進市の事例等を踏まえ、本市の事業についてICTを利活用した市民が行政に参画しやすい仕組みを調査・研究します。	△ 調査・研究	△ 調査・研究	△ 調査・研究	△ 調査・研究	ＩＣＴ推進課	2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進	27	△	市民参画関係課と定期的に協議を行い、ＩＣＴを利活用した市民が行政に参画しやすい仕組みの調査・研究を行いました。
				評価指標： 施策の実施						28	△	オープンガバメントに関係するセミナー等に参加し、調査・研究を行いました。また、市民参画関係課が29年度に構築する市民協働サイトの内容等について、識者や関係者等にヒアリング等を行いました。
										29		
				―	―	―	平成30年度までに施策を実施			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標 27	28	29	30	担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価 年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
再掲	シズオカ型オープンデータシステムの推進（オープンデータ活用（課題解決））	オープンデータを活用することで、社会課題や地域課題の解決を図ります。	しずおかオープンデータ推進協議会等と連携して社会課題や地域課題解決等を目的としたオープンデータ活用イベント等を開催し、オープンデータの活用した社会課題や地域課題の解決を図っていきます。	◎ アイデアコンテストの開催	△ 関係機関等と調査研究	△ 関係機関等と調査研究	△ 関係機関等と調査研究	ＩＣＴ推進課	2-2-3 市政参画の最適化（ガバメント2.0） 再掲3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進	27	◎	オープンデータ専用のカタログサイトを構築し、平成27年10月に公開しました。 カタログサイトには300種類以上のデータセットを登録し、画像データ等ニーズのあるデータを優先的に提供しています。 また、アプリコンテストを開催した結果、69件のアプリ作品を含む117作品（これまでの自治体主催コンテストでは最多）の応募がありました。
				評価指標：オープンデータを活用したアプリ等活用件数						28	○	本市主催のハッカソンを１回、内閣府との共催によるハッカソンを１回開催しました。 また、しずおかオープンデータ推進協議会が開催する「地域課題解決コンテスト」に実行委員として参画しました。
										29		
				10件	30件	50件	50件			30		
再掲	電子交流掲示板の構築	新しい形の市民活動の拠点として、バーチャル（仮想現実）の世界に「電子交流掲示板」を立ち上げ、インターネット上で、誰もが気軽に自由に市民活動に関する情報のやり取りができるようにしていきます。	これまでの市民活動センターでの市民活動団体同士の交流支援に加え、「電子交流掲示板」といったネット上で、「市民個人が、市民活動を知り、参加や応援ができる」、「市民活動団体が活動を紹介し、会員や寄附を募る」、「市役所各課が事業実施にあたり、協働相手を募集する」といった市民活動に関する『情報広場』の構築を検討します。	△ ・事業スキームの作成 ・情報収集	△ 情報収集	○ 市HPを使用した試用版の運用	◎ 実施	市民自治推進課	2-2-2 情報提供手段の多様化 再掲３-２-３ 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進	27	△	事業スキームの作成、情報収集等を行いました。
				評価指標：平成30年度からの運用開始						28	△	「シチズンシップに富んだ人づくりを目指し、「静岡シチズンカレッジ　こ・こ・に」の修了生を活かすとともに、市民が自分の住む地域を知り、積極的にまちづくりに関わることができる仕組みを構築する」ことに目的を修正しました。また、予算要求を行い、仕様書の作成を行いました。
										29		
				―	―	―	アクセス数			30		
86	シニア向けスマートフォン教室の開催	市民が誰でもICTの恩恵を享受できるように、市民ニーズに沿ったICT講習会等を開催し、情報格差を解消することにより、地域活力の向上につなげます。	スマートフォンの使い方がよくわからない方を対象に、アプリを正しく使うコツや災害時に役立つ情報等について学ぶ講座を開催します。	→ 講座等の実施	→ 講座等の実施	→ 講座等の実施	→ 講座等の実施	ＩＣＴ推進課	3-3-1 デジタル・ディバイドの解消	27	→	全３回実施し、目標達成できました。 ・スマートフォン教室２回（１回目20人・２回目24人） ・タブレット教室１回（16人）
				評価指標：教室の開催回数						28	→	全４回実施し、目標達成できました。 ・スマートフォン教室２回（１回目20人・２回目20人） ・タブレット教室２回（１回目20人・２回目18人）
										29		
				２回以上	２回以上	２回以上	２回以上			30		
87	携帯電話不感地域の対策	携帯電話がつながらない地域の解消を図ります。	携帯電話がつながらない世帯が残されており、日常電話利用のみならず、防災・医療・観光といった面からも支障をきたしているため、通信事業者等関係機関に積極的に働きかけをしていきます。	→ 関係機関への要望等	→ 関係機関への要望等	→ 関係機関への要望等	→ 関係機関への要望等	ＩＣＴ推進課	3-3-1 デジタル・ディバイドの解消	27	→	平成27年８月の実地調査により判明した１地区を追加した５地区について、総務省（２回）及び携帯電話事業者（１回）に対して不感地区解消の要望を実施しました。
				評価指標：関係機関等への要望回数						28	→	総務省からの情報に基づき現地調査を行い、不感地区が１地区減少し、４地区になったことを確認しました。 不感地区については、総務省（２回）に対して不感地区解消要望を実施しました。
										29		
				１回以上	１回以上	１回以上	１回以上			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

NO	施策名	事業目的	事業内容	スケジュール（年度） 評価指標				担当課	情報化推進計画該当項目	事業評価		
				27	28	29	30			年度	進捗状況	評価指標等に対する各年度の事業実績
88	オクシズサイトの運営	静岡市中山間地域「オクシズ」の魅力やイベント等に関する充実した情報を広くインターネット利用者に向けて発信し、オクシズへの観光交流人口の増加及びオクシズ地域の活性化を図ります。	中山間地域総合情報発信サイト「オクシズ」の管理・運営及び日々の情報更新を随時行います。	◎ 中山間地域総合情報発信サイト「オクシズ」の管理・運営及び情報発信	→ 継続運用	→ 継続運用	→ 継続運用	中山間地振興課	3-3-2 地域情報の受発信強化	27	◎	ウェブサイトによる情報発信を継続し、アクセス数も目標達成予定　19万件（1月末時点）です。 平成28年度にはウェブサイトの改修を行う予定です。
				評価指標：「オクシズ」サイトのアクセス数						28	→	ウェブサイトによる情報発信を継続し、アクセス数も目標達成予定　19万６千件（1月末時点）です。 平成28年度においては、セキュリティ改修を実施しました。
										29		
				年20万件	年20万件	年20万件	年20万件			30		
再掲	清水区ＳＮＳ活用事業	清水区の魅力に関する情報発信を区民との協働による新しい手法で実施し、区民の交流を促進するとともにより効果的な情報提供を行います。	区民との協働によるＳＮＳ（Facebookページ・Twitter等）を活用した情報発信を実施しているところです。 「清水区Facebookページ」については、「しみず魅力発信サポーター」（区民、事業者、団体等）との協働による情報発信を実施しており、平成２６年度は１０チームとの協働事業を実施中です。その他ＳＮＳの活用については、平成２７年度以降の実施を検討しています。	◎ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	→ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	→ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	→ 区民と協働して情報の収集・発信を行い、清水区ファンを拡大	清水区地域総務課	3-2-3 地域コミュニティとの連携。市民参画の促進 再掲3-3-2 地域情報の受発信の強化	27	◎	平成２７年度中に「清水区Facebookページ」の協働先（チーム）を２団体増やしたほか、平成27年12月には「清水区広報キャラクターシズラ」の公式Twitterを開設し、幅広い年齢層へ情報発信を可能としました。
				評価指標：「SNS」ファン数／協働先の数						28	→	平成２８年度中には「清水区Facebookページ」の協働先（チーム）を増やして２１団体としました。また、「清水区Facebookページ」と「シズラ」公式Twitterの運用を強化し、SNSのファン数拡大を図りました。
										29		
				1200件／11団体	2400件／12団体	4700件／22団体	5000件／23団体			30		
89	G空間シティ構築事業の実運用化	G空間シティ構築事業の実運用を進め、市民や来訪者が外出先等で災害に遭遇しても、最寄りの避難所等に迅速に避難できる環境を構築します。	平成26年度に総務省実証事業として実施したG空間シティ構築事業（災害時における避難情報の多層的な情報伝達）について、災害時に最寄りの避難所情報や災害情報が発信できるよう、静岡市公衆無線LAN事業ポータルサイト「しずばす」等と連携して実運用化を検討していきます。	△ ・検討 ・関係者との調整	△ ・検討 ・関係者との調整	△ ・検討 ・関係者との調整	△ ・検討 ・関係者との調整	ＩＣＴ推進課	3-3-3 最新技術の生活への活用	27	◎	G空間シティ構築事業に使用した避難所データを活用して、民間事業者が提供する地域情報提供アプリに災害時の避難所案内機能が実装されました。
				評価指標：実運用化						28		
										29		
				―	―	―	平成30年度までに実運用化			30		
90	図書館電算システムの更改	現行の図書館システムを見直し、利用者へのサービス向上と図書館業務の効率的な運用を実現します。	平成30年３月に実施予定の図書館システム更改時に、現行の図書館システムを見直し、利用者のサービス向上と図書館業務の効率的な運用を実施するために、調査・研究を進めます。	△ 調査・検討	△ 調査・検討	◎ システム更改	→ 継続運用	中央図書館	3-3-3 最新技術の生活への活用	27	△	開発業者による実演説明の実施や、他都市の状況、ユーザニーズ等について調査・研究を行いました。
				評価指標：―						28	△	昨年度に引き続き調査・研究を行いました。利用者の利便性を向上させることなど、更なるシステム最適化を図るため、システム更改を１年延長しました。
										29		
				―	―	―	―			30		

スケジュール及び進捗項目　△（調査・検討）、○（一部実施・推進）、◎（完全実施・完了）、→（継続）

静岡市情報化推進実施計画（2015-2018）
平成 28 年度フォローアップ

平成 29 年３月
静岡市総務局ＩＣＴ推進課
〒420-8602　静岡市葵区追手町5番１号
TEL 054-221-1341　FAX 054-254-3915
Email：ict@city.shizuoka.jp
http://www.city.shizuoka.jp